

June, 2016

54

魂

福岡大学





学生広報ポーターゲームーズが
福大生に聞きました！

あなたの夢や
目標は？

南三陸町で化学を教える

笑顔溢れる社会人に

文武両道

常に向上心を！

3年連続特待生になる

世界へ

遠い地球の裏側で起きている事が
リアルタイムに映し出される現代。
遠く離れた国で起きる出来事が
私たちの生活にも密接に関わる。
ボーダーレス、グローバルの時代。

世界に目を向ける。
世界の中で考えていく。
世界に挑戦する。
世界を意識し、
未来を創るのは
私たち。



渡部 陽一氏撮影 イラクにて

熊本・大分地方で発生した地震により、
被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

- 建学の精神**
思想堅実・穏健中正
質実剛健・積極進取
- 教育研究の理念**
○「人材教育」と「人間教育」の共存
○「学部教育」と「総合教育」の共存
○「地域性」と「国際性」の共存

CONTENTS

37 36 35 33 31 29 27 25 23 21 19 18 17 16 15 13 9 2

- 特集 世界へ
時代を駆ける先輩たち
- 7人制ラグビー日本代表キャプテン
コカ・コーラレッドスパークス所属
コカ・コーラエース株式会社勤務
桑水流 裕策さん(スポーツ科学部
スポーツ科学科2008年卒業
研究室を訪ねて
- 長島和幸(スポーツ科学部講師
「2020年―東京―を見据えて、
レスリングの歴史や問題点を考察、分析
スポーツ界のより良い未来に貢献する
- オープンキャンパス開催
- 平成29年度入学試験要項決定
入学前予約型給付奨学金
入試日程
- 福眼力
- 充実 CAMPUS LIFE
- 法学部経営法学科2年次生
古後 陸さん
- 情熱の証
- ・学術文化祭
- ・柔道部女子
- Active Learning! 学びの現場から
- 共通教育科目「物理科学入門」
就活メモリー
- ・株式会社エイトR&D室(商品開発)
- 川副 美鈴さん
(理学部化学科2013年卒業)
- ・佐賀市立城南中学校
山口 真美さん
(人文学部歴史学科2012年卒業)
- ヒボクラテスの系譜
- 全国屈指の交通拠点博多駅エリアで
大学病院の先進医療や女性医療を展開
奨学・特待生制度
- 平成28年度学校法人福岡大学収支予算
平成28年度学校法人福岡大学事業計画
福大生サポート募金第9回寄付者7芳名二覧
なくま通信

陸上競技部

太田 亜矢 選手 スポーツ科学部3年次生

- 第99回日本陸上競技選手権大会 女子砲丸投 優勝
- 2015日本学生陸上競技個人選手権大会
女子砲丸投 優勝
- 天皇賜盃第84回日本学生陸上競技
対校選手権大会 女子砲丸投 優勝



佐々木 華

さん 福岡大学大学院
理学研究科 地球圏科学専攻 博士課程後期

- 2015年夏に名古屋で開催された
「国際第四紀学連合第19回大会」にて
「Student Poster Awards」を受賞



サイクリング愛好会

相園 健太郎 選手 法学部4年次生

- UCIパラサイクリングトラック世界選手権
日本代表 チームスプリント総合7位
- UCIパラサイクリングロードワールドカップ
イヴェルドン・レバン大会 日本代表





全日本出場資格を獲得して活躍する
好きな事をやり続ける
世の中の役に立つ公務員になる
自分に厳しい社会人！
いろいろなことを楽しむ
立派な教師になる！
世界に通じる人へ！
楽しみを持ち続ける
単位を落とさない
仕事を見つめる
毎日明るく元気に！
新しいビジネスに挑戦
アメリカ、ドイツへGO
たくさんライブに行く
人を楽しませたい
未来へダッシュ
色んな人と話したい！
銀行に就職したい！
Make a smile
小学校教員になる！
早速早起き朝ごはん
何事にも真意に！
楽器コンプリート！
単位をフルで取る！
世界を股に掛ける！
薬剤師になる！
後悔しない人生を送る
人との和を大切に
演劇で人を魅了！
頼りにされる人になる
世界で活躍する！
きらきらした人になる

過去のオリンピック出場者 (本学学生、卒業生)

岡本 登 さん 商学部卒・陸上競技部	1960年 ローマオリンピック ハンマー投げ (13位) 1964年 東京オリンピック ハンマー投げ (予選)
中野 尚弘 さん (旧姓：池田) 法学部卒・バレーボール部	1964年 東京オリンピック バレーボール (銅) 1968年 メキシコオリンピック バレーボール (銀)
松山 和興 さん 法学部卒・ヨット部	1972年 ミュンヘンオリンピック ヨットフィン級 (27位)
片峯 隆 さん 体育学部卒・陸上競技部 (現：スポーツ科学部)	1980年 モスクワオリンピック 走り高跳び (日本不参加)
喜多 秀喜 さん 商学部卒・陸上競技部	1980年 モスクワオリンピック 10000m (日本不参加)
三船 和馬 さん 経済学部卒・ヨット部	1980年 モスクワオリンピック ヨット470級 (日本不参加)
高木 裕 さん 経済学部卒・ヨット部	1984年 ロサンゼルスオリンピック ヨット470級 (高木・山本組) (11位)
山本 悟 さん 商学部卒・ヨット部	
佐藤 恵 さん 体育学部卒・陸上競技部 (現：スポーツ科学部)	1984年 ロサンゼルスオリンピック 走り高跳び (予選) 1988年 ソウルオリンピック 走り高跳び (11位) 1992年 バルセロナオリンピック 走り高跳び (7位)
佐藤 麻衣子 さん 体育学部卒・ヨット部 (現：スポーツ科学部)	2000年 シドニーオリンピック セーリング女子ヨーロッパ級 (23位) 2004年 アテネオリンピック セーリング女子ヨーロッパ級 (24位)
永井 謙佑 さん スポーツ科学部卒・サッカー部	2012年 ロンドンオリンピック サッカー (4位)
桑水流 裕策 さん スポーツ科学部卒・ラグビー部	2016年 リオデジャネイロオリンピック 7人制ラグビー (出場予定)

※監督、コーチでの出場分は掲載省略。

4年に一度の世界スポーツの祭典
オリンピック。
福岡大学の先人たちがスポーツ界に
残してきた偉業は計り知れない。
夢に向かって、
その一戦、その一瞬、
その勝利のために、
自らの限界に挑戦してきた。
不屈の精神とひた向きの行動力は、
額に汗する学生たちに受け継がれている。
世界に大きく羽ばたけ、
アスリートたち。

世界を舞台に羽ばたけ アスリートたち



フィギュアスケート
川原 星 選手
スポーツ科学部3年次生
第84回全日本フィギュアスケート選手権大会
12位



バドミントン部
藤野 遼 選手
商学部2年次生
アジアユースパラ競技大会 マレーシア2013
女子シングルス3位
アジアパラ競技大会 インチョン2014
女子シングルス8位



ハンドボール部
清家 卓也 選手
スポーツ科学部2年次生
第3回東アジアU-22選手権
日本代表



ハンドボール部
野村 雄也 選手
スポーツ科学部2年次生
第3回東アジアU-22選手権
日本代表



レスリング部
田代 拓海 選手
スポーツ科学部2年次生
2016年JOCジュニアオリンピックカップ
ジュニアの部 男子フリースタイル55kg級 優勝



バレーボール部
森 陽希 選手
スポーツ科学部1年次生
第10回アジアユース男子選手権
大会 (U-18) 日本代表



バレーボール部
松田 康河 選手
スポーツ科学部1年次生
世代別全日本チーム候補選手
強化合宿参加



福岡大学 × JICA

スポーツ振興支援ボランティア in ボリビア

本学と独立行政法人国際協力機構(JICA)は、ボランティア事業に関する連携協定を2015年8月に締結。これにより2020年までの5年間、本学の野球部とサッカー部から選抜された部員をボリビアに毎年約1カ月間、青年海外協力隊として派遣します。その第1弾として2016年2月、野球部7人・サッカー部6人の計13人が現地へ出発。ボリビアでの活動内容や自身の成長などについて各部の代表者に話を聞きました。

JICA ボランティア事業について
 野球部員はボリビア中央部のコチャバンバ市に、サッカー部員は中央南部のスクレ市に派遣され、現地の青少年を対象に活動。本連携により、ボリビアでのスポーツ振興と健全な青少年育成に貢献するとともに、派遣された学生が、グローバルに活躍できる人材として成長していくことも期待されています。



異文化を受け入れる柔軟さは将来の糧に



サッカー部の永井 翔也さん (スポーツ科学部4年次生)



誰とでも通じ合えるスポーツの力を実感



野球部の谷山 直規さん (スポーツ科学部4年次生)



体育教師になるのが目標というサッカー部の永井翔也さん。印象に残っている思い出は、スクレ市のサッカークラブで指導したこと。「もともとボリビアはサッカーが盛んで上手な人ばかりですが、技術は幼い頃から遊びの中で培ったもの。そこで競技者として上達できるように、部員たちと事前に用意しておいた効率的な練習メニューや現代サッカーのゲーム戦術などを教えました。私たちの指導は素直に受け入れられ、今でも役立てられているようで、現地のスポーツ振興に貢献できたことは最大の喜びです」。さらに、プロチームの練習にも参加し、日本よりも「個」を重視するスタイルに刺激を受け、視野が広がったと言う永井さん。自身の成長について尋ねると、「異文化や多様な考え方を受け入れる柔軟さが大切。この経験は指導者となり、多彩な個性を持つ子どもたちと接する際の糧になると思います」という力強い答えが返ってきました。

「ボリビアの子どもたちに野球の楽しさを伝えたい」。そんな思いで参加した野球部の谷山直規さんは、現地の学校にはバットやグラブすらないことを知り、出発前に部員たちと道具集めに奔走したと言います。「部員の出身高校を回るなどして古くなったものを提供してもらい、スーツケースいっぱい詰込み寄付しました」。現地では、小学生から高校生までを対象に、柔らかいボールを使つてのキャッチボールやバッティング練習など、野球の基礎を指導。「心掛けたのは徹底して相手の立場で考えること。言葉が通じないので、部員各自が初心に返り、野球経験がない人でも分かるよう身振り手振りで丁寧に教えました。その後、この学校で野球部を作ろうという熱が高まっているそうです」と手応えを話す谷山さん。最後に「文化や言語の違いはあっても心が通じ合えるスポーツの力を実感できました」と、今回の海外経験の収穫を語ってくれました。

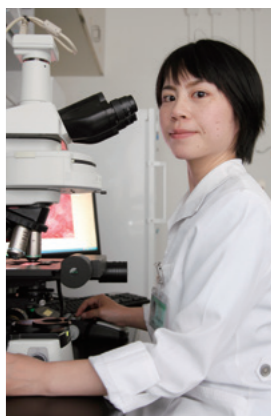


世界に羽ばたく
人生を楽しむ
放送局で働きたい
佐世保を世界一に！
孫に囲まれたい
自分の行動に責任を！
自分の目で世界を見る
すべては健康から
筋肉をつける！
体年齢を18歳に
独立開業！！
自分らしさを大切に
アモーレ
アジア旅行に行く
自立した大人になる
200歳まで生きる
パティシエになりたい
笑顔溢れる日々を送る
同期の院生に負けたくない
旅行にいっぱい行く
背を伸ばす！！
友達100人計画！
研究一筋の生物学者へ
アナウンサーになる！
英語で話せるようになる
死ぬ前に世界一周
地域に貢献する
世界のお祭り男になる
たくさんお金を稼ぐ
影響力のある人になる

国際学会で認められた学生たち

2015年度、福岡大学の大学院生が国際学会で価値ある賞を受賞。
その2人に、研究の内容や受賞の喜び、今後の展望などについて話を聞きました。

法医学分野における認知症の 新たな診断法を構築



高山みおさん
医学研究科 社会医学系専攻 博士課程
【発表タイトル】
神経病理学的検査による
認知症の新たな診断法の検討

高齢化の進行に伴い、高齢者が孤独死するケースが増加している現在の日本。それにより死因究明のための解剖数も増え続けているといわれています。こうした背景を踏まえ、法医学を専門とする高山さんは自身の研究について次のように説明します。「高齢者が死に至る過程を探り、死亡の状況や死因を解明するためには、生前に認知症を患っていたかどうか非常に重要です。そこで私は、免疫染色という従来よりも簡便な方法を用いて、脳組織の病理所見の定量化を行い、認知症を容易に診断できる基準を作る研究に取り組んでいます」。



ライプツィヒ大学法医学教室前

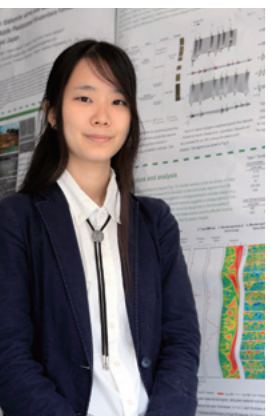
2015年9月には、ドイツで開催された法医学学会に参加。そこで研究の途中成果をポスター発表し、見事に優秀賞を受賞しました。「私の研究は、海馬や前頭葉、側頭葉といった脳の各部を染色し、数千にも及ぶプ

レパートをひたすら顕微鏡で観ながら画像データを記録していくという地道な作業の繰り返しです。発表までに約2年間を費やし、苦労もありましたが、法医学の進歩に貢献したいという気持ちでやり続けたので、受賞した時の感動はひとしおでした」と当時を振り返ります。今回の受賞をきっかけに、今後はドイツのハインリッヒ・ハイネ大学で約1カ月間の海外研修に参加するという高山さん。最後にこれからの目標について尋ねると、「原因不明の死の謎を解き明かし、遺族の方や社会の役に立ちたいと選んだ法医学の道。高度で難解なことも多いですが、今では解剖の現場にも立ち、責任とやりがいの大きさも実感しています。法医学の専門家となるためにも、まずはドイツで最先端の技術を学びたいと考えています」と語ってくれました。



※2016年6月15日から17日に開催された第100次日本法医学学会学術全国集会・Student poster forumでstudent poster賞を受賞

世界で初めて過去の湖の地層から 洪水・地震堆積物を認定



岡山県真庭市に分布する蒜山原層

佐々木さんの研究テーマは、年縞。これは、数千年、数万年単位の長い年月をかけて湖などに堆積した特徴的な縞模様（湖底堆積物（地層）のこと。年縞は樹木の年輪と同じように明暗一組の縞が一年に相当し、過去の気候変動や自然災害の履歴を知る重要な手がかりが記録されているといわれています。佐々木さんは、岡山県真庭市にある「蒜山原層」という約50万年前の湖の地層の年縞を細かく調査・解析し、それまで明確に区別できなかった洪水堆積物と地震堆積物等の認定に成功。さらに、この地層で、約8000年分の解析を行い、同地区における洪水と地震の発生周期も解明しました。

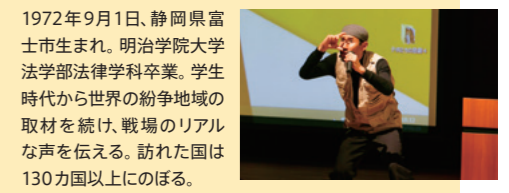
この研究成果が認められ、2015年の夏に名古屋で開催された国際学会「国際第四紀学連合第19回大会」（4年に一度開催）の「Student Poster Awards」を受賞。大会に参加した約1,000人の学生の中から選出されたのがわずか12人という極めて名誉ある賞を獲得したのです。佐々木さんは、「私の成果は湖の堆積物研究において広く応用できるもので、世界中の研究者たちに活用してもらえたらと思います。石油の探鉱分野や洪水などの災害研究の分野にも応用できる可能性を秘めており、今後も研究を深めていきます」と受賞と研究成果の手応えを話します。将来は研究者となり、国の機関で活躍したいという佐々木さん。「国際学会に参加すると、周りには有名大学の学生や先生ばかり。でも、研究成果は努力の量に比例すると思います。自分の努力次第で結果は付いてくるので、自ら立てた目標に向かって突き進むのみです」と意気込みます。



佐々木華さん
理学研究科 地球圏科学専攻 博士課程後期
【発表タイトル】
岡山県更新統蒜山原層の年縞と狭在される湖成重力流堆積物の層序的变化と周期性

<第16回 今を生きる教養講演会> ～2016年5月26日(木)開催～

戦場カメラマン 渡部陽一氏から
福大生へのメッセージ



1972年9月1日、静岡県富士市生まれ。明治学院大学法学部法律学科卒業。学生時代から世界の紛争地域の取材を続け、戦場のリアルな声を伝える。訪れた国は130カ国以上にのぼる。



夢は、戦争がなくなり
戦場カメラマンから
学校カメラマンに
なること。

戦争で泣くのはいつも子どもたち。自分ができることは何だろうと問い続け、戦場カメラマンになったのは大学生だった20歳の時です。さまざまな国を巡る中で気付いたのは、戦争をしている国同士では戦争は止められないということ。何より重要なのは相手のことを知ることであり、当事国以外の国や組織が間に入り、手を差し伸べるることなのです。そして、家族と一緒にいることこそが、子どもたちが生き延びる力となります。戦渦の中であっても、家族とい

と子どもたちは無垢な笑顔を振りまいてくれます。写真を通して、そんな尊い一人一人の声や生きる姿を世界に伝えること。それが使命とも言べき私の仕事です。地球から戦争がなくなり、この仕事が必要とされなくなる日まで、私は挑戦し続けます。福大生の皆さんも、ぜひ自らの信じる道を歩み、切り開いていってください。



イラク



イラク



ソマリア

いよいよキックオフ！

世界で 夢をつかみとる

試合でも練習でも体を張って
仲間をけん引するのが持ち味

取材当日の朝8時半。福岡大学60周年記念館（ヘリオスプラザ）6階のギャラリィ。そこには、眼下に広がる緑色のラグビー場を窓から感慨深そうに眺める、桑水流さんの大きな背中がありました。本学を訪れたのは、何年ぶりですか。そう問い掛けると、「卒業以来です」と懐かしさをかみしめるような答えが返ってきました。

身長188cm、体重97kg。スリッ姿の上からでも容易にうかがい知ることができ、トップラガーマンの強靱な肉体。桑水流さんは、今夏のリオデジャネイロオリンピックから初めて正式種目となる7人制ラグビー（セブンズ）の日本代表チームのキャプテンを務め、本大会出場の切符を勝ち

取った立役者の一人。10年以上も桜のエンブレムを胸に付けてプレーし、世界で広く知られる日本の「ミスター・セブンズ」。主要国際大会出場数は、日本歴代最多を誇っています。

7人制ラグビーの特徴は、スピード感あふれるプレーとハイテンポな試合運び。番狂わせが起きにくいとされる15人制とは対照的に、ワンプレーの質の高さがダイレクトにトライにつながる、シーソーゲームのような波乱の展開が魅力。すでに2020年の東京オリンピックでも正式種目として採用が決まっている注目の競技です。「2015年のラグビーワールドカップの盛り上がりで、ラグビー種目に期待が集まっている今だからこそ、チーム一丸となって日本の底力を見せたい」と桑水流さんは意気込みます。

自身のキャプテンシーについて尋ねると少しはにかみながら、「私は話すことが得意ではないので、言葉より行動で示すタイプです。試合でも練習でも、とことん体を張って全力で取り組む姿で、仲間を引っ張るのが自分の持ち味だと思っています」と話します。7人制ラグビー日本代表の精神的支柱として、誰もが認める桑水流さん。そのリーダーシップの源は、自らを追い込み、目標に向かってひたむきに力を尽くした大学時代にありました。



桑水流さんの努力の日々と汗、そして、日本を背負うプライドが染み込んだ代表チームのユニフォームとヘッドギア

時代を
駆ける

Future

先輩
たち



7人制ラグビー日本代表キャプテン
コカ・コーラレッドスパークス 所属
コカ・コーラウエスト株式会社 勤務

桑水流 裕策 さん

[スポーツ科学部スポーツ科学科 2008年卒業]



社行会のため本学を訪れた桑水流さんとラグビー部の後輩たち

意外にも小学生から中学生まではサッカーに夢中だったという桑水流さん。ラグビーに転向したのは高校に入学してからです。進学を前に息子の体格の良さを見込んだ父の勧めがきっかけでした。地元でラグビーの名門として名をはせていた鹿児島工業高校へ進学。高校3年生の時には、見事に全国高等学校ラグビーフットボール大会への出場を果たし、「花園」という念願の大舞台でのプレーを現実のものとした。「戦績は2回戦敗退でしたが、人生で初めて、努力は報われる、夢は叶う」と実感しました。私にとって、決して忘れることのできない強烈な出来事となったのは言うまでもありません」と当時を振り返ります。いつしか、「このかけがえない経験の後輩たちや、スポーツに励む多くの生徒たちに伝えたい」と考えるようになり、体育教師になりたいという思いが芽生えました。一方で、ラグビーへの情熱は増すばかり。そこで桑水流さんは、保健体育の教職課程が設けられ、ラグビーでは九州トップクラスの福岡大学スポーツ科学部への進学を決定しました。

ラグビー部にいざ入部してみると、同学年の中でも花園経験者は珍しくなく、選手層の厚さとレベルの高さをまざまざと思い知らされました。高校の頃とは明らかに違うハイレベルな環境で桑水流さんを待ち受けていたのは、過酷な練習と

「二冊の哲学書よりも一滴の香水」 学長の言葉が進むべき道を照らす

入学以来、ラグビー漬けの毎日を送っていた桑水流さんでしたが、一貫して決めていたことがありました。それは、どんなに練習がいくらでも絶対に授業を休まないこと。「学生の本分は勉強ですし、後輩を持つ立場になったときに、授業を怠けていては示がつかまぜんから」と真意を明かします。成長の糧になった授業は、教員免許取得のために履修した科目「コーチ法実習」。「他学部の学生に水泳を教

える機会があったのですが、人に何かを教えるには、まず相手の立場になって、どう説明したら分かりやすいかシミュレーションするなど、十分な準備が大切です。授業を通して、多様な視点や物事を整理して考える思考力、理論的に意思を伝えるコミュニケーション力が養われ、それは人との連携が不可欠なラグビーにも生かされていると実感しています。

やがて就職活動の時期。入学時は教員免許取得に向けて、勉強や実習にも取り組んでいた桑水流さんでしたが、日本代表に選ばれたところから、卒業後も実業団でラグビーを続ける決心をしていました。4年次には、7チームから入団のオファーが届きます。その中には



激しいレギュラー争いです。「とにかく試合に出たい。その一心で練習に打ち込み、絶対に腐らせずに努力し続けよう」と決まっていたと、その当時の心境を振り返ります。しかし、1年次生ということもあって、なかなか試合に出場できる機会は巡ってきませんでした。

自身のキャッチ技術や走力に 手応えを感じた世界との戦い

転機が訪れたのは、まだ大学でレギュラーの座を射止める前の2年次生の時。7人制ラグビーの日本代表チームと福岡大学ラグビー部の指導を兼任していたコーチの推薦で、同代表チームのメンバーとして初招集されるという思い掛けないチャンスがやってきました。「15人制の試合は前半後半各40分ですが、7人制は各7分計14分という短期決戦です。そこで最初のプレーとなるキックオフのボールをマイボールにできるかどうかが勝敗を左右する重要なカギとなるため、ボールをいち早くつかみ取る私の身体能力に期待してのことだったと思います」と選出された経緯を具体的に付け加えます。

このときの日本代表チームは、アジアシリーズで優勝。桑水流さんは、初めて世界との戦いを経験し、ハイレベルな実戦を通して自身のボールキャッチ技術や走力、スタミナに手応えを感じるとともに、多くの刺激やさらなる高みを目指す意欲を大学に持ち帰りました。

日本ラグビー界の頂点に立つトップリーグ1位のチームも含まれていました。何が最高の選択なのか。桑水流さんは悩みました。そんな時、背中を押してくれる言葉と出合います。たまたま手に取った福岡大学の広報誌『七隈の杜』に載っていた「一冊の哲学書よりも一滴の香水」という当時の学長の言葉でした。

「自分の感覚を大事にしる。私は言葉の意味を、直感的にそう解釈しました。本を読んで得た知識に頼るのではなく、多く

努力は報われる 夢は叶う



大学でも日本代表でもキャプテンとしてチームを引っ張る自身のリーダーシップについて熱く語る桑水流さん

大学時代の苦い経験が 日本代表キャプテンとしての教訓に

その後、桑水流さんはすぐにラグビー部でレギュラーを獲得。2年次生の冬には、全国大学ラグビーフットボール選手権大会への出場を果たします。しかし、関東勢の実力は高く、無念の初戦敗退。この悔しさが原動力となり、強豪に勝つため自身の肉体改造を決意。親しくしていた先輩の紹介で、レスリング部の朝練に自主参加することにしました。練習内容は、ダンベルや綱登りなど、ハードなメニュー。これまで経験したことのない練習に果敢に挑み、極限まで筋肉を鍛え上げ、当たり負けしない肉体を作り上げていきました。桑水流さんの変化と気迫を感じたのか、ラグビー部員たちの練習にもより熱が入るようになり、部内の雰囲気は自然と活気づいて

いったそうです。

無意識に発揮されていたリーダーシップ。それが監督の目に留まり、4年次生となった桑水流さんは、ついにキャプテンを任されます。印象に残るエピソードを尋ねると、やや顔を曇らせながら口を開きました。「ある日の練習でのことです。一人の後輩が明らかに手を抜いているように見え、つい声を荒げてしまいました。練習後、あらためて理由を聞くと、実は体調が悪くて熱があると。後輩は無理を押して、練習に参加していたのです。自分の思いだけで突っ走ってはいけなかったと、ただただ後悔しました」。以降、一人よがりにならずに、常に冷静に注意深く仲間と気を配るよう意識しているという桑水流さん。それは現在の日本代表キャプテンとしての教訓にもなっていると言います。

仕事もラグビーも常に全力 目指すはリオでのベスト4進出

入社後、桑水流さんは経営管理部に配属となり、社用車の管理や伝票処理といった業務を担当しています。始業は朝8時半。社会人となってからも準備の大切さを忘れることなく、その30分前には入社するよう心掛けています。昼の12時までは、一会社員として業務に従事。午後はラグビーの練習へ。シーズン中は、合宿や遠征でラグビーの比重が大きくなること。二足のわらじを履いて大変そうと、よく言われますが、全くそんなことはありません。仕事の時はラグビーのことは一切考えずに100%仕事と向き合う。逆にラグビーをしている時はそれに集中する。いずれラグビーを引退する時期が来るでしょうし、仕事はその先も続くわけですから、どちらも悔いのないよう全力で取り組むだけです」と桑水流さん。最後に今後の目標を尋ねると、迷わず「世界でベスト4進出を果たすこと」と力強く即答。あえて言葉にはしなかったものの、真つすぐに前を向く瞳には、その先にあるメダルの輝きが映っているように見えました。



『七隈の杜』第3号
平成18年12月11日発行



午前中はデスクワーク。
時間が限られているからこそ全力で業務に取り組む

自分の感覚を
大事に。
多くの学びや
経験によって
磨かれた
自身の感性を
信じる。



Active
福岡大学



八田一朗著の書籍の数々

せながら分析を進めている、と長島先生。「八田氏は根性主義者として知られ、彼のスパルタ指導はもはや伝説となつています。しかし、史料を読み解くと、彼

が唱えた根性論は「スポ根」的な精神論ではなく、科学的根拠に基づいた合理的な指導を実践していたことが分かります。それは現代スポーツにも通じる指導法であり、優れた先見の明があったことがうかがえます。また、組織運営の面でも、積極的に海外遠征を取り入れたり、企業とスポンサー契約を結んだり、現代では当たり前なことを他のスポーツ競技に先駆けて推進していたのです。」

「人類が継承してきたスポーツという文化の発展に貢献したい」。そう熱く語る長島先生のライフワークは、スポーツ史の研究。特に、日本代表選手として活躍するほど先生ご自身が打ち込んできた日本レスリングが研究の対象です。その「日本レスリングの父」と呼ばれる八田一朗氏の精神性に着目した研究に心血を注いでいます。八田氏は、早稲田大学在学中の1929年に大学にレスリング部を創設した人物。これが日本レスリングの始まりとされています。1946年から約40年にわたって日本レスリング協会の会長を務め、強烈な個性とカリスマ性で日本を世界と肩を並べるレスリング強国に育て上げました。

先生の研究の第一歩は、一次史料（原史料）の収集。八田氏のご子息をはじめとする関係者から直筆の日記や書簡、写真などを借り受け、それを丁寧に読み込み、当時の時代背景や社会情勢と照らし合わせている、と長島先生。「八田氏は根性主義者として知られ、彼のスパルタ指導はもはや伝説となつています。しかし、史料を読み解くと、彼



平成22年度全日本レスリング選手権大会決勝戦(右:長島先生)



研究職に就いた記念に購入した西洋角力(レスリング)の興行の様子を表した古い版画

と力を込めて話します。担当する授業や総監督を務めるレスリング部でも、時にはスポーツで勝負意味を問うなど、学生たちに勝負とは違った側面から考えるきっかけを与えることも少なくないとか。直接的な技術指導だけにとどまらない先生ならではの指導法が実り、2016年全日本ジュニアレスリング大会では、フリースタイル55キロ級において教え子の田代拓海選手(スポーツ科学部2年次生)が優勝、西日本学生レスリング春季リーグ戦では15年ぶりの優勝を果たしました。「今回の結果は、本学レスリング部のレベルが、2020年の東京五輪出場を狙える位置に近づいていることを実感できる快挙だと捉えています」と、先生は胸を張ります。

世界の舞台に参加できるチャンスは誰にでもある

スポーツ史を研究する上で、五輪は重要な研究要素であると言う先生。「まず指導者として、選手には大いに目指してほしい舞台であると伝えています。一方で、研究者としては、批判的に見ている部分もあります。五輪が始まった当初、五輪は開催理念のとおり、人間教育や世界平和の意味合いが濃かったはずですが、現代では商業的なイベントとして肥大化し、さまざまな問題を生んでいることも確かです。それでもス

先生モノがたり 現役時代に熱戦を繰り広げた 競技会のIDカード

ポーツは、人に豊かさや幸福を届ける力を持っています。だからこそ、2020年に向けて学生たちには、どんな形でもいいので五輪に参加してほしいと伝えています。本学は東京五輪連携大学に指定されています。またボランティアとして関われるチャンスもきつとあるはず。せっかくなので機会を生かしてスポーツの素晴らしさをあらためて実感してほしいです。」



小学3年生からレスリングを始めたという長島先生。以降、中学校、高校、大学、実業団と、選手を引退するまでレスリング漬けの日々を送ってきました。現役時代は全日本レスリング74キロ級のチャンピオンとして5連覇を果たし、世界大会でもメダルを獲得するなど、レスリング界屈指の名選手として名をはせました。手元に残る40種類以上のIDカードは、数々の大会に出場してきた先生の競技人生を物語る。『今の自分が存在するのは、レスリングを経験する中でスポーツ文化について学術的な関心を持つことができたからです。自分史を語る上で各競技会のIDは、重要な記録(史料)であると考えています』と先生は感慨深く話します。

研究室を訪ねて

教授陣の卓越した研究を知り 個性的な人柄にも触れる 「知」との貴重な出会いのページ

スポーツ文化の発展に寄与する研究

「2020年―東京」を見据えて、レスリングの歴史や問題点を考察・分析

スポーツ界のより良い未来に貢献する

スポーツ科学部

長島 和幸 講師

研究テーマ

●わが国におけるレスリングをめぐる思想的展開について (スポーツ史研究・「八田一朗」人物研究)



八田一朗氏のご子息から借り受けた日記や書簡。当時の心持を垣間見られる貴重な史料



選手時代は、世界、国内で数々のメダルを獲得した長島先生



日本レスリングの父・八田一朗氏の精神に迫る

「人類が継承してきたスポーツという文化の発展に貢献したい」。そう熱く語る長島先生のライフワークは、スポーツ史の研究。特に、日本代表選手として活躍するほど先生ご自身が打ち込んできた日本レスリングが研究の対象です。その「日本レスリングの父」と呼ばれる八田一朗氏の精神性に着目した研究に心血を注いでいます。八田氏は、早稲田大学在学中の1929年に大学にレスリング部を創設した人物。これが日本レスリングの始まりとされています。1946年から約40年にわたって日本レスリング協会の会長を務め、強烈な個性とカリスマ性で日本を世界と肩を並べるレスリング強国に育て上げました。

平成29年度 入学試験要項決定

平成28年度入試の結果や平成29年度入試の変更点などについて、入学センター長の高山峯夫教授に聞きました。



入学センター長
高山 峯夫 教授
(工学部)

平成29年度入試から「英語の資格・検定試験活用制度」を導入

平成28年度入試における本学の志願者数は、平成26年度入試の5万人超えを上回り、18年間で最多となる50,692人となりました。この要因は全国的な大学受験者数の増加、昨今の継続的な受験生の地元志向などによるものと考えられます。

現在、本学は2023年までの活動指針である「福岡大学ビジョン2014-2023」のもと、さまざまな取り組みを推進しています。その中で示している4つの重点項目の一つである「グローバル人材の育成」に関連して、平成29年度入試から大学入試センター試験利用入試において「英語の資格・検定試験活用制度」の導入を決定しました。これは、出願までの2年以内で取得した英語の資格・点数（英検、TOEIC®、TOEFL®等）のレベルに応じてセンター試験（英語）の得点に換算し、合否判定

主な入試制度

■一般入試（系統別日程）

全学部を5つの学問系統に分類し、同一系統内であれば1回の試験で複数学科の出願も可能。学科の特性に応じた配点で、3科目400点満点で選考します。

※医学部は4科目（一次選考/400点満点）、小論文・面接・調査書（二次選考/50点満点）により選考します。

■一般入試（前期日程）

1試験日に1学科を受験できます。試験日が異なれば併願でき、同一学科の併願も可能。3科目300点満点で選考します。

■センタープラス型入試

「一般入試（前期日程）」と「平成29年度大学入試センター試験」の両方における、各学科が指定する教科・科目の総合点で選考します。

■大学入試センター試験利用入試(I期)

「平成29年度大学入試センター試験」における、各学科が指定する教科・科目の総合点で選考します。

※医学部は大学入試センター試験の総合点（一次選考/700点満点）と面接・調査書（二次選考/50点満点）により選考します。

※スポーツ科学部は大学入試センター試験の総合点（400点満点）と調査書・スポーツ活動歴調査書（100点満点）により選考します。

■大学入試センター試験利用入試(II期)

「平成29年度大学入試センター試験」における、各学科が指定する教科・科目の総合点で選考します。

■A方式推薦入試

高等学校の推薦を必要とする公募型入試制度。調査書、面接、テスト(2科目)により総合的に選考します。

※スポーツ科学部は調査書、面接（作文を含む）、体育実技により総合的に選考します。

便利に容易に出願できる インターネット出願に完全移行

平成29年度入試からは従来の志願票による出願を廃止し、インターネット出願に完全移行します。入学試験要項（冊子）は廃止しますので、専用サイトで入学試験要項（PDF）をダウンロードしてください。また、出願登録画面では入力内容のチェックや検定料の計算が自動的に行われます。検定料はコンビニエンスストアなどで24時

間納入可能で、出願内容・納入状況もサイト上でいつでも確認できるため大変便利です。今後も年々変化する受験生のニーズに柔軟に対応していきたいと考えています。また、入学センターでは、高校に向いて実施している模擬講義用のパンフレットを準備しています。これにより本学の教授陣がどんな教育・研究をし、本学で何が学べるのか一目で分かるようになっていきます。完成後、各高校に配布する予定ですので、ぜひご覧いただき、進路決定の参考にしてください。

本学はワンキャンパスに9学部31学科、大学院が集まっている総合大学です。多種多様な個性があふれるキャンパスでは、やる気と行動力があれば、多彩な出会いと成長の機会に恵まれます。

8月6日（土）のオープンキャンパスで、そんな本学の魅力をぜひ体感してください。きっと未来を切り開く意欲が刺激されるはずですよ。



オープンキャンパスを 開催します!

8月6日（土）10:00～16:00

キャンパスを巡りながら
大学生活を送る自分をイメージしてみませんか?

2016年も、高校生とご家族の皆さまに向けて、オープンキャンパスを開催します。昨年は一昨年より2,000人多い12,184人が来学し、大盛況でした。当日は、大学の授業を体験できる模擬講義や充実した設備で行う公開実験、クラブ活動見学など、見どころが盛りだくさん。個別相談コーナーでは、受験や大学生活に関する相談などに教員や在学生が丁寧にお答えします。福岡 ヤフオク!ドーム約45個分の広大なキャンパスと学生スタッフの活気あふれる雰囲気を感じてください。

写真は2015年のオープンキャンパスの様子です。

主な内容

- ・施設見学
- ・模擬講義
- ・公開実験
- ・教員・在学生による個別相談コーナー
- ・進学相談コーナー
- ・クラブ活動見学
- ・入試の傾向と対策
- ・キャンパス周辺遊覧バス
- など

ガイドブックでスケジュールを確認



模擬講義で大学の授業を体験



理学部で人気だった体験コーナー



中央図書館見学ツアーでスケール感を目の当たり



キャンパスライフについて在学生に質問



個別相談コーナーで疑問を解消



クラブ活動を見学



食堂で休憩&リラックス



見どころ、体験どころ満載!

入試日程

*平成29年3月までに実施する入試の日程です。

入試制度	実施学部(学科等)	出願期間	試験日等	試験地	
AO入試	法	小論文作成 グループディスカッション	8月1日(月)～ 8月6日(土)	8月22日(月)	本学(福岡)
	商(会計専門職プログラム含む) 商二(会計専門職プログラム含む)		8月22日(月)～ 8月26日(金)	一次選考 9月1日(木) 二次選考 9月10日(土)	— 本学(福岡)
			8月22日(月)～ 8月26日(金)	一次選考 9月1日(木) 二次選考 9月10日(土)	— 本学(福岡)
	スポーツ科	公開練習会	8月1日(月)～ 8月5日(金)	8月9日(火)・24日(水)	本学(福岡)
		特別講座		8月8日(月)・23日(火)	
		8月22日(月)～ 8月26日(金)	一次選考 9月1日(木) 二次選考 9月9日(金)	— 本学(福岡)	
公募推薦	A方式	人文、法、経済、商、商二、理、工、医、薬 スポーツ科	11月1日(火)～ 11月10日(木)	11月27日(日) 11月24日(木)・25日(金)	本学(福岡)
	B方式	経済、工(化学システム工、社会デザイン工)		11月26日(土)	
	地域枠	医(医)		11月27日(日)	
	スポーツ特別推薦	人文、法、経済、商、商二、 理、工、スポーツ科	10月1日(土)～ 10月5日(水)	一次選考 10月18日(火) 二次選考 11月4日(金)	— 本学(福岡)
大学入試センター試験 利用入試(I期)	人文、法、経済、商、商二、 理、工、医(看護)、薬、スポーツ科	1月5日(木)～ 1月13日(金)	大学入試センター試験 1月14日(土)・15日(日)	—	
	医(医)		大学入試センター試験 1月14日(土)・15日(日) 二次選考 2月14日(火)	— 本学(福岡)	
大学入試センター試験 利用入試(II期)	人文(教育・臨床心理、ドイツ語、フランス語)、 法、経済、商、商二、理、工、医(看護)、薬、スポーツ科	1月5日(木)～ 1月24日(火)	大学入試センター試験 1月14日(土)・15日(日)	—	
一般入試	系統別日程	人文、法、経済、 商(会計専門職プログラム含む)、 商二(会計専門職プログラム含む)、 理、工、医(看護)、薬、スポーツ科	1月5日(木)～ 1月17日(火)	2月2日(木)	本学(福岡) 東京 広島 大分 名古屋 山口 宮崎 大阪 北九州 鹿児島 高松 長崎 那覇 松山 熊本
		医(医)		一次選考 2月2日(木) 二次選考 2月14日(火)	本学(福岡)・ 東京・名古屋・大阪 本学(福岡)
		人文(文化、東アジア地域言語)、経済(産業経済)、商(経営)、 理(応用数、地球圏科、ナノサイエンス・インスティテュート)、薬 人文(教育・臨床心理、ドイツ語)、経済(経済)、商(貿易、会計専門 職プログラム)、理(物理科、化、社会数理・情報インスティテュート)	1月5日(木)～ 1月17日(火)	2月3日(金)	本学(福岡) 広島 山口 山 宮崎 長 熊本 熊 大分 大 鹿 宮 児 崎 島
	人文(歴史、フランス語)、法(経営法)、商(商)、 工(機械工、電子情報工、社会デザイン工)、 薬[理科重視型]、 スポーツ科(健康運動科)	2月4日(土)			
	人文(日本語日本文、英語)、法(法律)、商二、工(電気工、化学シ ステム工、建築)、医(看護)、スポーツ科(スポーツ科[小論文型])	2月5日(日)			
	スポーツ科(スポーツ科[実技型])	2月6日(月)			
	人文、法、経済、商、商二、 理、工、医(看護)、薬、 スポーツ科(スポーツ科[小論文型]、健康運動科)		2月6日(月)・7日(火) 2月11日(土)・12日(日)	本学(福岡)	
			2月11日(土)	本学(福岡) 東京 山口 宮崎 大阪 北九州 鹿児島 高松 長崎 那覇 松山 熊本 広島 大分	
	「センタープラス型入試」を人文学部、法学部、経済学部、商学部、理学部、工学部、医学部(看護)、薬学部で実施します。				
	後期日程	人文、法、経済、商、商二(会計専門職プログラム含む)、 理、工(電気工、電子情報工、化学システム工、 社会デザイン工、建築)、薬、スポーツ科	2月16日(木)～ 2月27日(月)	3月6日(月)	本学(福岡) 広島 鹿児島
スポーツ科学部 特別募集	スポーツ科	2月16日(木)～ 2月23日(木)	3月4日(土)	本学(福岡)	
帰国子女入試	人文 ^(※1) 、法、経済、商、商二、理、工、薬	11月1日(火)～ 11月10日(木)	11月26日(土) 11月25日(金)	本学(福岡)	
	スポーツ科				
社会人入試	前期日程	人文 ^(※1) 、経済、商、商二、 工(機械工、社会デザイン工)	11月1日(火)～ 11月10日(木)	11月26日(土)	本学(福岡)
	後期日程	法、商、商二、薬、スポーツ科	2月16日(木)～ 2月23日(木)	3月4日(土)	
編・転・学士入試	人文、法、経済、商、商二、 理、工、薬 ^(※2) 、スポーツ科	2月16日(木)～ 2月23日(木)	3月4日(土)	本学(福岡)	
学部留学生入試	人文、法、経済、商、 理、工、医(医)、薬、スポーツ科	11月22日(火)～ 12月2日(金)	1月30日(月)	本学(福岡)	

(※1)帰国子女入試、社会人入試では人文学部教育・臨床心理学科の募集は行いません。(※2)薬学部の学士入試については、別途お問い合わせください。

入学前予約型給付奨学金

七隈の杜 給付奨学金

七隈の杜 第3子以降特別給付奨学金

本奨学金は、福岡大学への入学を希望する方に対し、経済的支援を行うことを目的としています。
一般入試の出願前に奨学金の申請を受け付け、審査の結果、採用候補者として認定された方に対し、
入学後1年間の奨学金給付(返済不要)を事前に約束する制度です。
採用候補者は、一般入試(※1)に合格し、
入学後に所定の手続きをすることで正式に奨学生として採用されます。
平成28年度の実績は、「七隈の杜 給付奨学金」が252人、「七隈の杜 第3子以降特別給付奨学金」が39人、
計291人に対し奨学金を給付しました。

入学前予約型給付奨学金「七隈の杜」

七隈の杜 給付奨学金

- ▶ 申請資格
 - ・平成29年度一般入試(※1)を受験する者
 - ・父母の年間収入を合算した金額が、
基準額(※2)以下の者
- ▶ 申請時期
平成28年11月1日(火)～12月12日(月)
- ▶ 選考結果通知(※3)
平成28年12月下旬
- ▶ 採用候補者数
約2,000人
- ▶ 奨学金額(※4)
文系学部30万円(商二部15万円)
理系学部50万円
成績優秀者は特別増額あり
- ▶ 支給時期
平成29年6月

※第3子以降特別給付奨学金と併給可能です。

七隈の杜 第3子以降特別給付奨学金

- ▶ 申請資格
 - ・第3子以降(※5)の者
 - ・平成29年度一般入試(※1)を受験する者
 - ・父母の年間収入を合算した金額が、
基準額(※2)以下の者
- ▶ 申請時期
平成28年11月1日(火)～12月12日(月)
- ▶ 選考結果通知(※3)
平成28年12月下旬
- ▶ 採用候補者数
約1,000人
- ▶ 奨学金額(※4)
30万円
- ▶ 支給時期
平成29年6月

※1 一般入試(系統別日程・前期日程)・センタープラス型入試・大学入試センター試験利用入試(I期・II期)のいずれかの入学試験
※2 給与・年金収入金額:700万円(課税前)、その他・事業所得金額:350万円
※3 家計状況について審査し、困窮度の高い方から採用候補者を決定し、通知します。
※4 奨学金額は、一般入試の合格発表時(2月22日)に通知します。なお、初年度納入金額相当(委託徴収金除く)を限度とします。
※5 出生の早い者から順次に数えて第3番目以降の子

入試に関する詳細やその他の変更点については、『大学案内2017』または福岡大学公式ウェブサイトでご確認ください。

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/> (トップページ)入試情報サイト

福岡大学

検索

私たちの挑戦

商学理論を生かした

1個380円(税別)の「J&C×ヘアブリック」が色鮮やかに並び、目に飛び込んでくる。天神ロフト(福岡市中央区)5階バラエティ雑貨売り場の特設コーナー。「15秒、売り場に足を止めてもらうためにどんな仕掛けが必要か」。学生たちは約半年間にわたり商品の特性や購買層などを分析しながら、販売スキームをプロジェクトメンバーで幾度となく練り直し、天神ロフトに提案した。その努力が実り、売り場は完成した。

福大で新発見・再発見
福眼力
学内の旬の出来事やスポットを写真で描き出します。



マーケティングを実践的に学びながら、生の消費者動向を売り場で体感

本プロジェクトは、カバヤ食品株式会社の商品を企画のベースに、「天神ロフトにしかない売り場を作りたい」「福岡大学の学生に商学理論の実践の場を提供したい」という福岡大学と天神ロフト双方の意向が一致し、2015年9月にスタート。マーケティングを専門とする杉本宏幸商学部准教授の指導の下、学生有志21人(商学部・商学部第二部)が参画。売り場構成を中心としたプロモーションを学生が担当。企業との折衝の他、週に一度のペースで開くミーティングでは進捗状況の確認や各セクションにおける問題点の改善などの議題に多くの時間を割いた。マーケティングに基づく売り場構成の他、学生目線でSNSを駆使したPRやCM映像作りも行った。

※特設コーナー開設期間：2016年5月28日(土)～6月26日(日)



学生たちが制作したCM映像



約3時間をかけて売り場を設営

Timeline

古後さんの 自分年表

1

福岡大学法学部経営法学科に入学

大学入学前にシンガポールやマレーシアを訪れたことを機に、海外への興味を深めていた。そんな時、福岡大学のパンフレットを見て、経営法学科にアメリカで連邦裁判所の見学や企業訪問などを行う経営法学科ならではの科目があると知り、入学後受講したいと思った。

「国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ、Ⅱ」を履修グローバルコミュニケーションをベースに日米法制度および異文化について自分の考えを発表したり、議論したりするアクティブ・ラーニングによって、グローバルリーガルマインド、分析力、リーダーシップ、コミュニケーション力、プレゼンテーション力が鍛えられた。

1年次夏休み 「国際コミュニケーション海外研修」の授業でシアトルへ

約2週間にわたって、シアトル大学で現地の学生と一緒に講義を受け、裁判所や政府機関を見学し、現地企業（スターバックス本社）などを訪問。研修ではクラスプレジデント（クラスのリーダー）も務め、研修を通じて得た「何事にも積極的に」「できるだけ経験の幅を広げる」といった指針が、その後の大学生活の原動力になっている。



1年次春休み ベトナムでの海外インターンシップに参加

就職・進路支援センターが主催する海外インターンシップに参加。ベトナムの日系旅行会社で新しいツアープランの企画作成や新たなプロモーションの提案など、日本人観光客向けのサポート業務を体験し、「臨場知」の重要性をさらに体感できた。

2年次4月～ エクステンションセンターの「通関士受験対策講座」を受講

国境を越えて人とモノをつなぐ商社の仕事に興味を持ち、貿易業務に役立つ通関士の資格取得に挑戦。10月の国家試験に向けて準備を進めている。



古後さんの 目標

「入学前から、福大で必ず受けたかったと思っていた授業があります」と、古後は大学生活の始まりを語ります。その授業は「国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ、Ⅱ」。経営法学科1年次生向けの専門教育科目で、夏休みに実施するアメリカ海外研修と併せ、日米関係やアメリカの政治・司法、グローバルコミュニケーションを学ぶ授業です。

「グループワークでも発表でも、自分の考えを明確に伝える姿勢が求められ、これが大学の授業スタイルなんだと、わくわくしました」と古後さん。元外交官でこの科目の担当教授、ウエ

ストン先生がしばしば発する、「Don't be shy（恥ずかしがらないで）」という言葉が、海外研修の際、大いに背中を押してくれたそうです。「模擬裁判の授業では、死刑制度について活発に議論を交わす現地学生に負けじと手を挙げ、問題提起しました。またグループワークで訪問したチャイナタウンの自治組織では、知識だけでなく体験を通じて実感することの大切さを教わったとか。「これを臨場知と呼ぶのだと、後に知りました。研修後はさらに経験の幅を広げ、臨場知を深めようと、意欲が高まりました」。

その言葉どおり、帰国後すぐにFIT、さらに海外インターンシップにも参加。「実はどちらも入学時から参加したいと思っていました。福大には授業以外にも、さまざまな体験をするチャンスがたくさんあります。一つでも多くのチャンスを生かしたいです」。

「自分の可能性を限定せず、柔軟に経験の幅を広げたい」

2年次生となり、新たなチャンスに挑む古後さんの意欲はさらに高まっているようです。「4月から通関士受験対策講座を受講しています。通関士というのは、貿易業務に関わる国家資格。2度の海外研修を通じて、貿易の仕事に関わりたという思いが強まり、それに役立つ通関士の資格を取得しようと。学内のエクステンションセンターを利用して」と、古後は話します。その他、福岡県留学生サポートセンターの運営に関わり、その縁で知り合った福岡市の企業で定期的にインターンシップを重ねるなど、学外にも活動の場を広げている古後さん。「引き続き何事にも積極的にチャレンジし、経験の幅を広げていきたい」と、しっかりと前を向いて語ってくれました。

ここがターニングポイント!

2

古後さんの「充実 CAMPUS LIFE」POINT

福大では、自ら動けばきっとチャンスが見つかる

FIT (国際交流 学生ボランティアチーム)

国際センターに登録して留学生を支援するボランティアです。古後はシアトル大学での海外研修を終えた直後の9月に登録し、活動を始めました。FITは区役所への同行や生活上のアドバイスなどのサポートをしています。「シアトルではホームステイ先の家族をはじめ、多くの方々にお世話になりました。その恩返しをしたいと思い、登録しました」。



ウオッシュバン大学研修生歓迎会

★大学生活を送る上でのモットー

「JUST DO IT」です。福大にはチャンスが豊富にあります。自分が動かないと何も始まりません。「行動あるのみ」。そして「最大限に力を尽くす」。この姿勢を心掛けています。

何事にも積極的にチャレンジ!

法学部経営法学科の授業で訪れたアメリカ・シアトルでの海外研修、ベトナムにある日系企業での海外インターンシップ、さらには「通関士受験対策講座」の受講と、福岡大学の豊富なバックアップ制度をフル活用して幅広い経験を積んでいる古後陸さん（法学部経営法学科2年次生）。「今後も「JUST DO IT（行動あるのみ）」の精神で、さらに経験値を高めたことと意欲を燃やしています」。

充実 CAMPUS LIFE

「海外研修」「インターンシップ」「資格取得」
目の前のチャンスに
全力で挑戦



古後 陸さん
法学部経営法学科
2年次生
Riku KOGO

★好きな授業

「国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ、Ⅱ」
「国際コミュニケーション海外研修」

前期完結の1で現地の情報収集や留学準備を進め、シアトルでの研修の後、Ⅱで国内の企業を訪問。集大成として最後に報告会を行います。現地の研修では「多文化における人間関係」について発表しました。

《過年度の主な訪問先実績》

- ・ アラスカ航空
- ・ コストコ
- ・ スターバックス本社
- ・ 日本総領事館
- ・ 州上級裁判所
- ・ 連邦地方裁判所



情熱の証

One Person, One Circle

学びを軸にサークル活動にも熱く燃え、一生の思い出仲間を。



柔道部女子

切磋琢磨の汗を束ねて、さらなる高みへ

第一記念会堂地下の柔道場で畳に響く受け身の音が、練習の激しさを物語ります。柔道部女子の部員は現在23人。日曜を除く毎日、朝夕合わせて4時間半の猛練習を積んでいます。早朝は柔道部女子OBの富岡コーチ、午後はシドニーオリンピック銅メダリストの日下部基栄監督の指導を仰ぎます。「厳しさの中にも優しさを兼ね備えた監督です。オフの日にはご自宅に部員全員を招いて食事を開いてくださることも。そんな監督をお手本に、私も部員一人一人の個性に合わせた声掛けを工夫しています」と話すキャプテンの向井真琴さん。部のモットーを尋ねると「オール・フォー・ワン、ワン・フォー・オール」という言葉が返ってきました。「23人の部員は趣味も性格も十人十色ですが、柔道着に袖を通せば、思いは一つ。全員で目標を達成しよう」と、お互いを支え合いながら練習に取り組んでいます。柔道部女子の目標は全国大会出場。出場への切符を手にするため10月の大会に向け、団体ベスト4、多数の個人上位入賞を目標に、持前の「全員柔道」で挑んでいます。



日下部監督の「強くしたい」という思いに応えて日々成長する部員たち

年間行事

- 5月 九州学生柔道大会 (団体)
- 6月 全日本学生柔道優勝大会 (団体)
- 7月 九州ジュニア選手権大会 (個人)
- 9月 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 (個人)
- 10月 全日本学生体重別選手権大会 (個人)
全日本学生体重別団体優勝大会 (団体)

学術文化祭

発見、探究、感動。色とりどりの文化の雫

毎年6月に開催される福岡大学学術文化祭は、本学の文化系公認団体の活動内容を学内外に発信する文化行事です。秋の学園祭と並んで、福大の魅力を広く伝えるイベントとして定着しています。第57回となる2016年学術文化祭のテーマは「雫」。一滴の水が大きな流れとなり、やがて大地に浸透するように、私たちの活動ぶりを広く伝えたくて」と、テーマに託した思いを語るのは、学術文化部会常任幹事会幹事長の山崎陽平さん。情宣活動を担当する上半皓平さんは「多彩な団体の発表に加えて、著名な文化人による講演会も。一般学生はもちろん市民の方も、きっと興味を引かれる団体やイベントが見つかると思います」と、本学ならではの魅力の広がりを語ります。そして学術文化祭のフィナーレを飾るのが、「音楽の夕べ」。7月3日(日)、本学8号館831教室で音楽系サークルが一堂に会して開きます。学術文化部会に所属する29団体約1,600人が発信するそれぞれの「雫」が、大きな感動に結実する時間を、ぜひ共有してください。



「雫」のコンセプトをブルーで表現したポスターを学内外に掲示して告知

年間行事

- 2月 幹事合宿会
- 3月~ 幹事会
- 5月 テレビ出演、ポスター掲示、SNSによる情報発信等の情宣活動
- 6月 学術文化祭 (6月27日~7月1日)
- 7月 音楽の夕べ (7月3日)



My Teaching Style

理学部 物理科学科
寺田 貢 教授

能動的な学習姿勢で
物理科学の魅力と可能性を
実感してください

近年では高校で物理を履修しない人も多いのですが、スマホや家電製品の中には、物理を基礎に発展した科学技術がたくさん詰まっています。「物理科学入門」の授業にアクティブ・ラーニングの要素を盛り込んでいるのは、この授業で物理に対して積極的に興味を持ち、科学技術全般を身近に感じてほしいと思うからです。その甲斐あって、「物理はとっつきにくい分野だと思っていたけれど、面白い」「映像を通じて自然と興味を持つことができた」「他の受講生が書いたものが読めて、非常に参考になった」など、多くの学生から前向きな反応があり、私自身も手応えを感じています。

者との知識の共有と自発的な学びが、その能力を育てる一助となることを願っています。

講義前(予習)

前回講義の終了前
Moodle 教員がアップロードした学生のレポートに対してコメントを書き込む

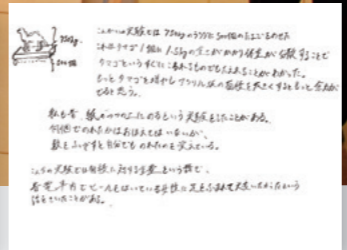
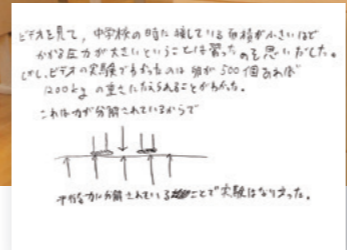
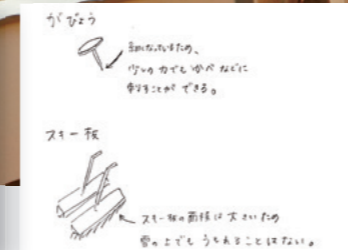
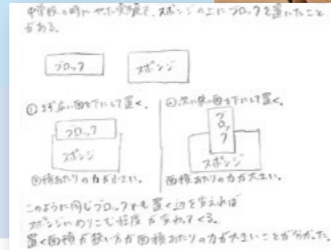
実験映像の再視聴
学生が提出したレポートへのコメント

講義中

物理現象や法則などの解説

講義後(復習)

Moodle 音声解説を加えた動画を視聴
講義内容確認のためのクイズに解答



学生が提出する手書きのレポートも授業の題材に

オンラインによる 事前・事後学習で 物理科学が身近に

見る、聴く、書く
知識を共有して
疑問点を確信に変える

物理現象への 興味を引き出す

教室前方のスクリーンに、500個の卵の上に立つラダの姿が大きく映し出されました。学生たちが熱心に見入っている動画は、NHKが制作した10分間の科学映像。「物理を学ぶ機会が少ない学生や文系の学生でも興味を持てるよう、毎回映像を出発点にしています」と担当の寺田貢先生。第3回となるこの日のテーマは「卵の上に立つラダ」。体重750キロのラダを何個の卵で支えられるかという実験映像を手掛かりに、「力の分散」「ベクトル量」といった力学の基本法則を学習していきます。

映像を見終わるとスクリーンに映し出されたスライドや、前回の授業で学生が書いたレポートに沿って、寺田先生が解説を加えます。一見、静かに進行するこの授業、実は進め方に大きな特徴があります。授業の終盤、次の授業で用いる映像

今回紹介する科目は 共通教育科目 物理科学入門

NHK エデュケーショナル制作の『大科学実験』の映像を教材に、「アルキメデスの原理」「ニュートン力学」といったテーマに関する物理現象や基本法則について学びます。

学びの現場から Active learning!

What's
アクティブ・ラーニング?
教育開発支援機構
須長 一幸 准教授

アクティブ・ラーニングの手法「反転学習」

反転学習とは、動画などの教材によって知識のインプットに当たる部分を自宅で行い、ディスカッションなどによって知識の定着に当たる部分を教室で行う学習のことを言います。講義を受けて知識のインプットを行い、課題などで知識の定着を図る通常の学習とは、教室と自宅の役割がちょうど逆になっています。

「反転学習」の期待効果

Moodle等で配信された教材は、自分のペースで何度でも学べます。ですから学生たちは個々の事情やスケジュールに合わせて学修可能です。また、その内容は教室内で活用されることが前提になっているので学ぶ意欲も高まります。反転学習では、こうした「知識を学ぶ→能動的に活用する」のサイクルを通じた知識の定着が期待できます。

異なる視点や考え方に触れることで 自分自身の視野の広がりを実感しています

Students' Voice

私は小さいころから理科が大好きなのですが、高校の物理の授業ではほとんど実験がなかったので、この授業で視聴する実験映像に毎回刺激を受けています。何より興味深いのが、他の学生のレポート。日常生活の体験

に根差したものが多く、「そんな視点もあるのか」「こんな答えの導き方もあるのか」と驚くうちに、科学全般に対してはもちろん、日々の生活の中でも着実に視野が広がっていることを実感しています。



商学部 商学科 3年次生 中野 佑一 さん



就職・進路支援センター からのお知らせ

3年次の夏季休業中が肝心。 就職活動の準備を怠りなく。

夏季休業中は就職活動の準備ができるチャンスです。特に3年次生は就職活動前の貴重な長期休暇となるため、インターンシップに参加するなど、就職観の醸成や業界・企業研究を行いましょう。インターンシップの情報は就職・進路支援センターからはもちろん、就職情報サイトからも得ることができるのでチェックしてみてください。

この時期からはSPI試験（適性検査）の対策にぜひ取り組んでください。高校レベルの知識が要求され、繰り返し問題を解けば必ず点が取れる部分ですので、参考書などの問題を繰り返し解き、着実に力を付けておきましょう。福岡大学オリジナルの履歴書には「研究課題・科目」「学生時代に力を注いだこと」「私の特徴」などを書く欄があります。今の時期にじっくり時間をかけて土台を作っていれば、今後改良を加える場合も、余裕を持って取り組むことができます。

学生時代に多様な経験を重ねることも大切です。海外に行く、ボランティア活動を行うなど、自分自身を成長させることにも時間とエネルギーを使って、有意義な時間を過ごしてください。



就職・進路支援センター
事務室
本多 由希子 さん

積極的に参加しよう

2017年3月卒業・修了予定者対象
学内合同企業説明会

7/2(土)、8/1(月)

【就職・進路支援センター公式ウェブサイト】
<http://www.career.fukuoka-u.ac.jp>

FUポータルやFacebook, Twitterでも
就職や進路に役立つ情報を
随時発信中です。

ぜひチェックしてみてください。
上記ウェブサイトよりリンクしています。



4年次 4月28日、DNAの研究中に「内定」の知らせ。先生や学友たちと喜び合う。

▲

3年次 「食へのこだわりに共感した」ピエトロを第一志望に。

▲

3年次 就職活動開始。就職・進路支援センターを活用し、「学内合同企業説明会」や「学内個別企業説明会」に積極的に参加。

▲

1年次 化学実験に夢中になり、卒業まで没頭。「実験を通して論理的な考え方が身に付きました」。

▲

入学 組成式をひもとき、現象や物質を理解していく面白さに引かれ、化学科へ。

※1: 物質を構成する原子の種類と、その原子数の最も簡単な整数比を示した式

就活 サクセス チャート

④ 就活アドバイス

就職活動中に、先輩から「就職活動はお見合いと同じ。うまくいかなくても、縁がなかっただけのこと。だから自分に能力や魅力がないなどと、落ち込む必要はない」と言われました。自分と相性の合う会社は、積極性さえ失わなければきっと見つかります。いつも前向きでいてください。



卒業 3度目の挑戦で合格。「寝る間も惜しんで懸命に勉強しました」。

▲

4年次 エクステンションセンターの教員採用試験対策講座を受講。「互いに切磋琢磨する仲間に出会えました」。

▲

3年次 星乃先生、森先生の授業を受け感動。本格的に教員を志す。

▲

2年次 学科主催の「教員勉強会」に参加。実践的な知識や情報を得る。

▲

1年次 空手愛好会に所属。卒業までに初段を取得。「礼儀、度胸、体力。社会で役立つ能力を磨きました」。

就活 サクセス チャート

④ 就活アドバイス

教員採用試験合格までの道のりは長く、平たんなものではありません。合格への挑戦を支えたのは「決して諦めない」という気持ち。その力の源となるのは「友人」の存在でした。めげそうになった時は仲間と話して新たな刺激を受けて、エネルギーを充電しましょう。



実験を通して培った力が、メニューの開発に役立っている

新しいメニューの誕生までは 試行錯誤の繰り返し

福岡市に本社を置き、ドレッシングやパスタソース等の製造・販売とレストランを展開するピエトロ。川副さんは現在、パスタのファストフードショップ「MIOMIQ」のメニュー開発に携わっています。1つのメニューが日の目を見るまでは試行錯誤の連続。ようやく試作品完成までこぎ着けても、社内プレゼン、そして社長プレゼンをクリアしなければなりません。それだけに販売に至った時は喜びもひとしお。「お客さまが私の作ったメニューを選んでおいしそうに食べてくださる。それを見ていると胸がいっぱいになります」。川副さんは、理学部化学科卒業。パスタのメニュー開発とは分野が異なるような気がしますが、「学科での学びは、現在の仕事にとっても役立っています」と、こやかな笑顔が返ってきました。

論理的な考え方や科学的探究心を これからも仕事に生かしていく

学生時代は実験に夢中だったと言う川副さん。例えば髪の毛からDNAを調べるなどの実験を行った「機能生

物化学実験」。思い通りの結果が出ないことがあっても、失敗の原因を考察することで違う発想が生まれ、新しい可能性が広がることを知りました。「メニューの開発も、試作→失敗→分析→考察→発想の転換→実証の繰り返しです。大学で培った論理的な考え方や科学的探究心は、今の仕事の大きな礎となっています」と川副さんは言います。学びの傍らアルバイトにもいそしみ、中でもカフェでの接客業務を通して「人と接することが好きな自分」に気がきました。やがて就職活動の時期、何に興味があるかを自問自答し、たどり着いたのは「食」に携わる仕事。それからは就職・進路支援センターに足しげく通って食品関連業界の情報や知識を得ながら、「学内合同企業説明会」や「学内個別企業説明会」に参加。「食育への取り組みなど、食へのこだわりに共感した」ピエトロを第一志望に。不思議とピエトロの面接は、緊張せず全てを出し切ることができたそう。入社4年目の目標は「記憶と記録に残る商品」の開発。「お客さまを笑顔にする、心に残る商品作りをしたい」と話す川副さんです。



就活メモリー

さまざまな職場で働く若き先輩たちの貴重な言葉が、就職活動を後押ししてくれます。

大学時代に受けた授業が、教壇に立つ自分の「理想の授業」

生徒たちに社会科という教科を 楽しいと感じてほしい

佐賀市の城南中学校で社会科を教えている山口さん。週20回の授業の他、3年生のクラス担任、吹奏楽部の副顧問も務めています。忙しい毎日ですが、授業で使用する教材作りに余念はありません。生徒たちに社会科という教科を心から楽しいと感じてほしい。そのため、どう伝えればいいのか毎回知恵を絞っています。現在は、電子黒板を使いパワーポイントで作成したオリジナルテキストで授業を行い、可能性を見だしています。「例えば、八幡製鉄所の成り立ちを説明するときには、鉄の作り方、石炭燃料や高炉の重要性、時代背景などを、文字だけでなく写真やグラフなどを用い、多角的な視点から理解できるようにテキストを作成しています。理想は「面白くて吸い込まれるような授業」。山口さんは、そんな授業を大学時代に体験しました。

学科で体験した「吸い込まれるような授業」を 自分もやってみよう

小学生の頃から歴史が好きだった山口さん。大学進

学際に「歴史を広く深く学びたい」という思いから人文学部歴史学科へ。3年次に人生の転機となる授業に出会います。星乃治彦先生の「国際関係史」と森丈夫先生の「西洋史特講」です。「両授業とも“いかに面白く分かりやすく伝えるか”を考え抜かれた授業でした」と、振り返る山口さん。「星乃先生は、ドキュメンタリー映像などを巧みに使って印象的に。森先生は、時に冗談を挟んだ抜群の語りで学生の気をそらさずに」。この体験をきっかけに社会科の教員を志した山口さん。大学の教職課程を履修する傍ら、4年次からはエクステンションセンターの教員採用試験対策講座を受講しました。在学中の合格には至りませんでした。卒業後、常勤講師を務めながら、3度目の挑戦で合格。2年目を迎えた今、教育への情熱はますます強くなっていると山口さんは言います。「もっと表現力を磨き、効果的な教材を作りたい。そして、生徒たちに、歴史、地理、公民は生活に身近なものに関心を高めてもらい、社会の課題と向き合う基盤を作ってもらいたいです」。



ヒポクラテスの系譜

乳がん検診、女性ならではの悩みや病気についても安心して受診を

女性の身体は、女性ホルモンの働きが繊細なため、思春期、妊娠・出産、更年期など、年齢や生活の変化によりさまざまな症状が現れます。そこで本クリニックでは、大学病院の女性医師による女性医療を提供しています。診療科目は、美容外科、美容皮膚科、形成外科、皮膚科、乳腺外科、産婦人科、消化器外科、泌尿器科、精神神経科など。「現在、日本人女性の12人に1人が乳がんになるといわれていますが、乳がんの検診を受けたくても男性医師では恥ずかしく、病院に行きづらいという患者さんは少なくありません」と、衛藤先生。「ここではマンモグラフィーや婦人科の検査等も女性が担当するので安心です。その他、美容医療や婦人科疾患、心の病など、女性ならではの悩みや病気に関しても、まずは気軽にご相談ください」と優しく呼び掛けます。



高画質で低被ばくの撮影が行え、人間工学に基づき快適で機能的なデザインのマンモグラフィー装置



脳神経外科 千住 緒美 先生



形成外科・美容外科 衛藤 明子 先生



診療所長 循環器内科 仁位 隆信 先生

全国屈指の交通拠点、博多駅エリアで大学病院の先進医療や女性医療を展開

大学病院の教授陣をはじめ 専門医による高度な医療を提供

博多駅エリアの新しいランドマークである「KITTE博多」の8階に開院した「福岡大学博多駅クリニック」。最大の特長は、九州における交通アクセスの拠点である博多駅前で、福岡大学病院・福岡大学筑紫病院と連携した高度な医療が受けられること。診療科目は、内科や循環器内科、脳神経外科、美容外科、形成外科、精神科、整形外科、消化器内科など多岐にわたり、常勤医師3人と大学病院の教授陣をはじめとする経験豊富な約40人の医師による専門的な外来診療を行っています。博多駅周辺で勤務するビジネスパーソンはもとより、県外の方でも、多くの方々には大学病院と同様の質の高い医療を提供しています。循環器内科医で診療所長の仁位隆信先生は「病気を抱える方はもちろん、予防医学の提供により、健康な人も利用できる多機能な施設づくりに努めます」と話します。

女性に優しい医療や最先端のリハビリ療法を展開

本クリニックで特に注目を集めているのが女性のための専門医療の提供。対応するのは医師も看護師も検査を行う技師も、全て女性スタッフ。女性ユニットの待合室や診療室は、一般の診療ユニットと別ユニットとなっており、プライバシーも十分に配慮されています。「シミ、シワ、ほくろ、たるみは気になるけど美容外科に行くのは勇気が…。そんな方でも安心して来ていただけます。当然、大学病院ならではの信頼性の高い美容医療を提供しています」と話すのは、形成外科・美容外科

医の衛藤明子先生。続けて、美容医療以外でも「乳腺外科や産婦人科、肛門科、そしてストレスに悩む女性には心の外来などの診療も行っており、女性の患者さんに抵抗なく受診していただけます」と説明を付け加えます。

また、福岡大学病院で運用されているロボットスーツHAL®を使用したりリハビリテーションを実施していることも特長の一つです。担当する脳神経外科医の千住緒美先生は、「ロボットスーツを装着して『動かそう』としたとき、皮膚の表面から出る電気信号をセンサーが読み取り、手足の動きや歩行を適切にアシスト。脳血管疾患の後遺症、脊髄障害、神経難病などを対象に「自分の力で立ちたい！歩きたい！」そんな患者さんをサポートし、より効果的なリハビリが可能となります。こうした最先端のリハビリを入院せずに受けられる施設は数が少なく、実際に県外から通院される患者さんもおられるので、社会のニーズに応えているという手応えがあります」と話します。

今後は本学のスポーツ科学部の知見を生かした、生活習慣病の予防や健康づくりを目的とした運動療法の提供、外国人を対象とした国際医療にも力を入れていくとのこと。さらに地域の医療機関から、クリニックのCTやマンモグラフィー装置による検査を、ウェブで予約できるシステムや、撮影した検査画像や大学病院の専門医が作成したレポートを参照できるシステムの構築を進めています。最後に、仁位先生に展望を尋ねると「人々の健康と医療の発展に貢献するべく、これまでの枠にとらわれない新しいスタイルの医療拠点を目指してまいります」という力強い答えが返ってきました。



柔らかな色合いのインテリアとプライバシーに配慮した女性専用診察室や待合室



患者の意思に従って動作支援を行う最新のロボットスーツHAL®を使い、先進的なリハビリ療法を提供



広い開口部が圧迫感を軽減し、被ばく量を抑えながら高画質を実現する80列マルチスライスX線CT装置



交通拠点である博多駅に直結した「KITTE博多」の8階に開院。好アクセスの立地特性を生かして、多くの人々に大学病院の高度な医療を提供

福岡大学博多駅クリニック

福岡市博多区博多駅中央街9-1 KITTE博多8階
TEL:092-435-1011 <https://www.fumc.fukuoka-u.ac.jp>

2016年4月21日に開院。高度で最先端の医療を提供している福岡大学病院・福岡大学筑紫病院と連携を図り、患者さん一人一人を大切に「あたたかい医療」を展開。女性ユニットでは、美容外科、美容皮膚科、乳腺外科、産婦人科、泌尿器科、肛門科、精神神経科などの診療や乳がんおよび婦人科検診、一般診療ユニットでは、一般診療はもちろんフットケア外来や、もの忘れ外来、海外渡航者向けトラベル（ワクチン）外来、ロボ



ットスーツHAL®を用いたリハビリ療法などを行います。一般市民向けの健康セミナーなども定期的に開催予定。約4年後の2020年には地下鉄七隈線が博多駅まで延伸し、利便性がますます向上。より多くの人々が利用できる医療拠点として期待が高まっています。
※初診時の選定療養費（5,000円以上）は必要ありません
※初めての方でも診療情報提供書（紹介状）なしで受診できます



学ぶ意欲を経済面から応援
福岡大学独自の支援制度

福岡大学では、家計の事情によって学生生活に支障を来す恐れのある学生を対象に、本学独自の奨学制度を設けています。学びに対する前向きな意志と優れた能力を持つ人材が、経済的な理由で修学を諦めるのは悲しいことであり、本学にとっても大きな損失であると考えるからです。

本学では返還義務のない「福岡大学給費奨学金」と、返還義務があります「福岡大学有信会奨学金」等を設けています。この他、特に優秀な学生を表彰する「福岡大学特待生」、さらには保護者の失職・死亡などにより家計が窮乏し修学が困難になった学生を対象にした「緊急貸与」という制度も設けています。今後も本学は、学生が経済的な理由で夢と志を捨てることのないよう、支援していきます。

また、日本学生支援機構奨学金や地方自治体、民間育英団体が実施している奨学制度もあります。少しでも悩みがあったら、まずは学生課の窓口にご相談ください。保護者の方からの相談に応じることも可能です。

奨学・特待生制度の恩恵を受けた人はもちろん、学生の皆さんは全員社会に支えられていることを忘れず、一層勉学に励んでください。

平成28年度 福岡大学特待生

人文学部	武内 玲於	合谷 翔太	田代 説	徳永 真一	加賀 永実子
文化学科	豊福 舞	古城 倫輝	富野 康介	安永 真唯	川邊 隼輔
植田 舞香	中島 鴻人	橋口 研蔵	石田 詩乃	河村 拓哉	久保田 桃子
北田 純	西島 佳佑	藤戸 陽子	神原 杏奈	久保田 桃子	柴田 佳奈
高橋 佳純	牟田部 彩香	松尾 恵	熊野 仁美	白石 ちひろ	白石 ちひろ
歴史学科	森本 遥己	理学部	齋藤 勝弘	田中 千絵	田中 千絵
岡松 聡子	山下 菜摘	応用数学科	増田 優	長瀬 青葉	長瀬 青葉
坂木 美由希	山田 雅範	熊井 彩花	建築学科	西村 麻衣子	西村 麻衣子
柳原 真帆	リ ジャリ	中島 康貴	井上 和音	牧野 瞳	牧野 瞳
日本語日文学科	渡邊 健人	福岡 志保	城戸 香帆子	丸岡 佳奈	丸岡 佳奈
鹿毛 祐奈	経営法学科	石橋 和也	馬見塚 修司	村石 悠介	村石 悠介
北條 有希子	井手 誠	岐部 秀和	松尾 航大	矢野 成美	矢野 成美
吉川 ななほ	江崎 和彦	中村 拓未	吉村 威吹	山野 聡	山野 聡
教育・臨床心理学科	小田 義人	化学科	医学部	スポーツ科学部	スポーツ科学部
岡崎 友香	柿本 凱大	田中 里奈	佐々木 颯太	安部 功陽	安部 功陽
白谷 美紗樹	塩先 紗弓	二宮 秀美	徳重 真純	鍛冶田 隼	鍛冶田 隼
藤田 ひまわり	中村 莉那	行武 美華	西野 正嗣	下原 凌太	下原 凌太
英語学科	東 真照	地球圏科学科	西山 麻里	曾根田 英里	曾根田 英里
青木 春花	松村 元樹	加藤 咲	平井 千晴	田中 勇	田中 勇
古賀 琴美	宮原 聖華	四海 葵	本田 はるか	谷崎 真一	谷崎 真一
葉山 紗江	経済学部	中川 明香里	丸岡 亜美	福江 亮太	福江 亮太
ドイツ語学科	経済学科	工学部	看護学科	松本 真和	松本 真和
浦部 千陽	赤嶺 将太	一木 馨伍	石塚 万莉子	健康運動科学科	安倍 秀隆
中原 広陽	池田 彩乃	歌津 雄太	奥村 万菜	安倍 秀隆	安藤 万莉
吉村 優利奈	江島 隆誠	久保田 将矢	戸田 ゆうき	池 彰太	池 彰太
フランス語学科	尾上 茉奈美	次木 匠	鳥越 敬子	田中 璃己	田中 璃己
小田 凪	黒岩 愛佳	藤原 眞一郎	吉村 彩保	津村 南美	津村 南美
高田 有莉咲	合原 優希	電気工学科	薬学部	薬学科	池沢 若菜
松浦 菜月	後藤 優冶	青柳 大地	池沢 若菜	岩永 宗範	岩永 宗範
矢津田 有紀	佐藤 知世	加来 司	岩永 宗範	音丸 智美	音丸 智美
東アジア地域言語学科	山藤 萌	田中 裕登	音丸 智美		
河原 愛	島田 林太郎	水崎 雅之			
花田 優香	多賀 夕季美	龍 輝優			
山谷 唯	長田 耕	電子情報工学科			
法学部	永松 大輝	坂本 俊悟			
法律学科	濱野 友也	田代 智也			
岩下 江里	平石 尚也	根葉 柚生			
上野 里奈	深見 凜	武藤 彰吾			
小野 貴裕	宮崎 大誠	村田 花恵			
桑野 瞳	山口 泰史	化学システム工学科			
桑原 啓司	吉田 拓斗	小山 稿			
小松 信之祐	義永 知佳子	鹿嶋 綾香			
齊藤 佑亮	産業経済学科	田中 亜依			
指山 隼治	大室 純香				
塩屋 守	川崎 佳祐				

※学部・学科ごとに氏名五十音順に掲載 計 203人

特待生表彰式



6月11日(土)、特待生に選ばれた203人に対して、全体表彰式、学部別表彰式を行いました。

■福岡大学特待生制度

【対象年次】学部2年次以上

前年度の学業成績ならびに品行の特に優秀な学生を「特待生」として表彰する制度です。全学部学科の2年次以上の学生から約200人が選ばれ、奨学金として30万円(ただし、商学部第二部は15万円)が授与されます。

■入学前予約型給付奨学金「七隈の杜」

【対象年次】学部1年次 ※事前申請が必要

一般入試出願予定者を対象(家計基準あり)に、入学後の奨学金給付(返済不要)を出願前に確約する制度です。11月から12月中旬に申請を受け付け、審査の上、12月下旬に採用候補者を発表。その後、一般入試に合格し、入学後に所定の手続きをすることで正式に採用されます。また、第3子以降を対象とする「第3子以降特別給付奨学金」も設けており、2016年度の採用実績は合計で291人でした。

福岡大学独自の奨学制度

奨学制度の種別	福岡大学給費奨学金(一号)	福岡大学給費奨学金(二号)	福岡大学学生サポート募金給費奨学金	福岡大学利子補給奨学金	福岡大学有信会奨学金(貸与)	福岡大学奨学金(貸与)	福岡大学奨学金(緊急貸与)
支給形態	給付	給付	給付	給付	貸与(無利子)	貸与(無利子)	貸与(無利子)
趣旨および資格	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障を来す恐れのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度です。	課外教育活動において、極めて特異な能力を有し、かつ、優れた業績を示した者を育成する制度です。	修学の意欲および能力があるにもかかわらず、学業困難な学生を援助する制度です。	本学が提携する金融機関の教育ローンに借りている者に、在籍期間中の利子相当額の全部または一部を給付する制度です。	学部卒業見込みの原級歴のない最終学年次生であり、卒業単位まで20単位未満の学生に貸与する制度です。	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障を来す恐れのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度です。	家計支持者の失職、死亡その他の理由により家計が急変し、修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。
対象年次	学部 2年次以上	学部 全学年	学部 全学年	学部 全学年	学部 最終学年次	学部 全学年	学部 全学年
出願時期	4月中旬	12月	11月上旬～中旬	12月下旬	4月中旬	4月中旬	随時出願可能
給付・貸与内容	文系30万円、理系50万円、ただし商二部は15万円 単年度採用	60万円以内 単年度採用	30万円 単年度採用	●医学部医学科を除く 学部・学科5万円以内 ●医学部医学科 10万円以内	期間:1年間 50万円	64万円 単年度採用	年間64万円を限度 単年度採用
返還義務の有無	なし	なし	なし	なし	卒業後10年以内で返還	卒業後10年以内で返還	卒業後10年以内で返還
2015年度採用実績	202人	12人	10人	35人	12人	206人	1人

特待生制度、給費奨学金、貸与奨学金の採用者は合わせて約970人で全国でも有数の規模となっています。

福岡大学以外の奨学制度

奨学制度の種別	日本学生支援機構「第一種奨学金(無利息)」	日本学生支援機構奨学金(緊急)	日本学生支援機構「第二種奨学金(利息付)」	日本学生支援機構奨学金(応急)	各種育英会・奨学団体奨学金(給費・貸与)
支給形態	貸与(無利子)	貸与(無利子)	貸与(有利子)	貸与(有利子)	給付・貸与あり
趣旨および資格	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者。別に定める貸与基準(学力・家計・人物・健康)を満たすことが必要。	家計支持者の失職、死亡その他の理由によって家計が急変し修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。	優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者。別に定める貸与基準(第一種奨学金より緩やか)を満たすことが必要。	家計支持者の失職、死亡その他の理由によって家計が急変し修学が困難になった場合の緊急の貸与制度です。	地方自治体や民間育英団体による奨学制度です。詳しくは学生課にお問い合わせください。
出願時期	4月中旬	随時出願可能	4月中旬	随時出願可能	—
給付・貸与内容	自宅通学者は月額3万円または5万4千円。自宅外通学者は月額3万円、5万4千円、または6万4千円。 貸与開始:4月 貸与期間:標準就業年限を限度(薬学部および医学部医学科は6年、その他の学部・学科は4年)	貸与額は第一種奨学金と同じ。貸与開始:12カ月以内で家計急変の生じた月まで遡及可能。 貸与期間:卒業予定期(毎年継続要)	月額3万円、5万円、8万円、10万円、12万円から選択。月額12万円を選択した場合に限り、医学部医学科生は4万円、薬学部生は2万円の増額を希望することができます。 貸与開始:本人の希望月 貸与期間:第一種奨学金に準じる。	貸与額は第二種奨学金と同じ。貸与開始:12カ月以内で家計急変の生じた月まで遡及可能。 貸与期間:第一種奨学金に準じる。	—
返還義務の有無	あり	あり	あり	あり	—
2015年度採用実績	238人	8人	355人	6人	42人

※これらの奨学金は応募条件等がそれぞれ異なります。事前に内容の確認をしてください。

平成28年度 学校法人福岡大学収支予算について

平成28年度予算の重点施策

- 教育体制の整備・充実
- 研究・情報体制の整備・充実
- 医療・健康体制の整備・充実
- 社会貢献の整備・充実
- 経営基盤の強化

平成28年度予算の特徴

- 教育関係:①入学前予約型給付奨学金「七隈の杜」 ②グローバル人材育成推進事業費 ③マルチメディア設備更新(教務部) ④福大生ステップアッププログラム経費
- 研究関係:①基礎研究機関研究所(福岡・東アジア・地域共生研究所他7研究所) ②産学官連携研究機関研究所(資源循環・環境制御システム研究所他11研究所)
- メディカル部門:①博多駅クリニック開設 ②デジタル乳房X線装置(福岡大学病院)
- 施設関係:①体育館施設(仮称)新築工事[平成26~平成28年度継続事業] ②工学部棟(仮称)新築工事[平成27~平成29年度継続事業] ③10号館耐震改修工事
- 学長裁量経費

平成28年度事業活動収支予算 (予算規模750億円) (単位:千円)

科目	28年度予算額	27年度予算額	差異
1 学生生徒等納付金	26,940,254	26,620,158	320,096
2 手数料収入	1,351,982	1,393,797	△ 41,815
3 寄付金収入	785,186	849,369	△ 64,183
4 補助金収入	4,858,022	5,358,268	△ 500,246
5 付随事業収入	1,041,550	999,135	42,415
6 医療収入	37,507,334	36,251,206	1,256,128
7 受取利息・配当金収入	1,463,716	1,705,157	△ 241,441
8 雑収入	73,948,044	73,177,090	770,954
9 前受金収入	40,167,685	39,635,685	532,000
10 その他収入	31,019,457	30,919,276	100,181
11 資金収入調整差	3,088,120	3,020,371	67,749
12 前年度繰越支払資金	74,275,262	73,575,332	699,930
13 収入の部合計	310,976	311,158	322,134
14 支出の部合計	310,976	311,158	322,134

経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支を見ることができ、28年度は3億2,700万円の支出超過となる見込み。27年度より経常費等補助金が5億円減少、医療収入が12億5,600万円増加、人件費が5億3,200万円増加。

経常的な収支バランスを見ることができ、28年度は3億1,100万円の収入超過となる見込み。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、28年度は2億8,700万円の収入超過となる見込み。

良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額である。27年度より設備関係支出が減少。

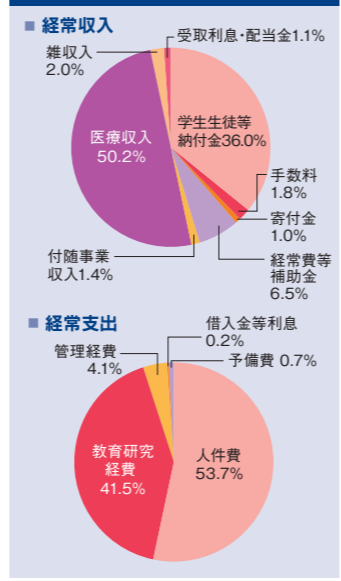
教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

学長裁量経費、文部科学省施策対応および予算編成時において予期しない支出に対応するためのものです。

経常収入に対する比率



事業活動収支予算の概要

従来の帰属収支差額に相当するNo.33基本金組入前年度収支差額(No.38事業活動収入-No.39事業活動支出)は、1億100万円の収入超過を見込んでおり、従来の帰属収支差額比率に相当する事業活動収支差額比率(No.33基本金組入前年度収支差額÷No.38事業活動収入)は、0.1%となっています。

資金収支予算の概要 (前年度予算との比較)

項目	28年度予算額	27年度予算額	差異
1 学生生徒等納付金収入	26,940,254	26,620,158	320,096
2 手数料収入	1,351,982	1,393,797	△ 41,815
3 寄付金収入	785,186	849,369	△ 64,183
4 補助金収入	5,024,872	5,801,569	△ 776,697
5 付随事業・収益事業収入	1,041,550	999,135	42,415
6 医療収入	37,507,334	36,251,206	1,256,128
7 受取利息・配当金収入	799,959	563,285	236,674
8 雑収入	1,463,716	1,705,157	△ 241,441
9 前受金収入	5,384,449	5,164,930	219,519
10 その他収入	26,986,886	26,015,741	971,145
11 資金収入調整差	12,766,735	12,919,594	152,859
12 収入の部合計	94,639,453	92,444,753	2,194,700
13 前年度繰越支払資金	15,263,675	15,489,603	△ 225,928
14 収入の部合計	109,903,128	107,934,356	1,968,772

学校法人会計の豆知識

- 平成27年度から学校法人会計基準が改正され、資金収支計算書では勘定科目等の見直しが行われています。また、従来の消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書となり、内容が大幅に変更されています。消費収支計算書では、収入・支出とも総額で把握していましたが、近年の臨時的・事業外の収支の増加を踏まえ、区分経理を導入し収支を経常的なものと臨時的なものに、さらに経常的な収支を教育活動と教育活動外に分けて把握することができるようになりました。また、近年の私学を取り巻く経営環境の変化に対応するため、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入れ前の収支差額も、表示されるようになりました。
- 学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

※本学公式ウェブサイトの情報公表・財務状況 (<http://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/finance/>) では、詳細な予算情報を公開していますのでご覧ください。

平成28年度 学校法人福岡大学収支予算

教育・研究・医療の一層の充実に向けて、限られた資本を、選択と集中により有効に投じ、強固な財政基盤を目指す



学校法人福岡大学 財政担当副学長 中川 誠士

学校法人福岡大学の平成28年度予算は、3月24日に開催された理事会および評議員会の承認によって、成立しました。この予算には本学の目指す道が明確に示されています。

18歳人口が再び減少する2018年問題、私立大学等経常費補助金が不交付になる入学定員超過率の厳格化、診療報酬改定による医療収入の減収、消費税増税など、今後の日本における大学経営をめぐる環境は厳しくなる一方です。しかし、これらが本法人の経営を圧迫する中においても、社会が本法人に求める役割と期待に応えていかなければいけません。

平成28年度予算では、教育・研究・情報・医療・健康体制および社会貢献の整備・充実ならびに経営基盤の強化を図ります。教育関係では、「入学前予約型給付奨学金「七隈の杜」」を新設するとともに、アジア諸国

との関係を中心としたグローバルな人材の育成を推進する事業が盛り込まれています。研究関係では、基盤研究機関研究所 産学官連携研究機関研究所のさらなる充実を図ります。メディカル部門では、福岡大学博多駅クリニックが開設され、本学が持つ高度で先進的な医療を九州の玄関口である博多駅で提供します。施設関係では、体育館施設(仮称)新築工事、工学部棟(仮称)新築工事および10号館耐震改修工事を予定しています。さらに、学長によるカバナンスを強化するため学長裁量経費を計上しています。

本法人は、さまざまな施策において「学生・生徒のため」「患者のため」「地域のため」という視点を重要視し、さらなる充実に取り組んでいきます。また、学校法人会計基準の改正が求める「学校法人の作成する計算書類等の内容がより一般に分かりやすく、社会から一層求められるものとする」という考え方を実践していきます。

重点施策および内容 本年度の予算については、次の5項目が具体的な施策として盛り込まれています。

1. 教育体制の整備・充実

新入生を対象に、入学前に給付を確約する奨学制度として、「七隈の杜 給付奨学金」「七隈の杜 第3子以降特別給付奨学金」を新設しました。また、海外研修や海外の大学との学生交流等、学部・学科でそれぞれの専門性を生かした専門課程のグローバル化を進めるとともに、グローバル人材を育成するプログラム「グローバル・アクティブ・プログラム(G.A.P.)」の定着および拡充を図ります。さらに、施設・設備関係として、体育館施設(仮称)新築工事、工学部棟(仮称)新築工事および10号館耐震改修工事を、教育環境の整備を図ります。

2. 研究・情報体制の整備・充実

研究部門の8つの基盤研究機関研究所による研究を進め、研究基盤の充実を図ります。また、産学知財部門の12の産学官連携研究機関研究所による研究を進め、研究成果の実用化等の促進を図ります。さらに、産学官連携コーディネーターによる新たな学内シーズ調査や、受託研究・共同研究の企業と大学の連携および「福岡大学機関リポトリ」による研究成果の発信を強化して地域の発展へ貢献します。

3. 医療・健康体制の整備・充実

福岡大学博多駅クリニックを開設し、高品質な医療を九州の玄関口である博多駅で展開することで、福岡大学のブランド力向上と福岡大学病院・筑紫病院の活性化を図ります。また、「断らない医療」の体制整備や地域医療機関との交流推進により医療連携の強化を図ります。さらに、医療の質向上のために、福岡大学病院にデジタル乳房X線装置を導入します。

4. 社会貢献の整備・充実

本学の教育・研究・医療活動の成果を社会に還元し、生涯学習社会の実現に寄与するために、これらをもとにした教育プログラムを公開講座として提供し、未就園児から高齢者まで幅広い世代へ学習機会を提供します。また、福岡市との連携協定に係る連携事業の一つである地域交流サロンを活用し、学生と地域住民の交流機会を拡充し地域ニーズの聴取や研究成果の還元を行います。

5. 経営基盤の強化

財政基盤の強化と予算編成内容の見直しをはじめ、収益事業等の推進、外部資金獲得事業の推進、大学病院経営改革に向けての取り組みを行います。

本法人の平成28年度事業活動収支予算では、良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の取得費である基本金の組入れ余力を超えて投資が行われることが想定されています。この状態が長期間続けば、将来的な設備投資余力が小さくなり、教育・研究・医療の持続性が担保できなくなります。今後、学生生徒等納付金収入が確実に減少する中、「福岡大学ビジョン2014-2023」に基づく事業計画を積極的に支援し、限られた予算財源を重点事業に傾斜配分するとともに、一方では、経常的な経費について、コストの大きさに見合う教育・研究・医療サービスの質と量の提供を実現できているか、点検・見直しを行っていくことが必要になってきます。本学関係者のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年度 学校法人福岡大学 事業計画(概要)

社会から求められている役割や期待、国の高等教育政策、
本学の長期ビジョン等を踏まえて
平成28年度学校法人福岡大学事業計画を策定しました。

福大生サポート募金 第9回 寄付者ご芳名一覧

1 大学

①時代の要請や社会のニーズに対応した教育・研究・医療の提供

- 初年次教育の充実、アクティブ・ラーニングの推進
- 科目系統図の作成、カリキュラムのスリム化
- 地域関連科目の設置
- 大学院教育・研究支援部会による修士・博士課程教育の再構築
- 全学的な教育マネジメントの確立
- 大学全体及び学部、研究科の教育目標、3つのポリシーの検討
- 入学試験における外部試験の活用等の検討
- 大学院生受け入れの推進
- 大学院のグローバル化
- 医療の質向上(高度先進・高品質医療の提供、医療安全の確立、福岡大学病院本館建替に向けた検討)

②先進的で高度な研究活動の遂行

- 受託研究・共同研究の推進
- 産学官連携による知的財産の活用

③アジア諸国との関係を中心にして行うグローバル人材育成

- 学部・学科の専門性を生かしたグローバル化
- グローバル・アクティブ・プログラム(G.A.P.)の定着・拡充
- 海外派遣・受入れ留学生数の拡大、留学生の受け入れ体制の整備
- 教育情報発信のグローバル化
- 教職員のグローバル化
- グローバル化体制の構築

④福岡を中心とする地域の活性化と発展の促進

- 「地域活性支援塾」「地域共生型起業塾」の開講
- 医療連携の強化(機能分化と連携推進)
- 福岡大学博多駅クリニックの開設と運営
- 生涯学習事業の展開
- 地域貢献に関する全学的な方針の策定
- 学生ボランティア活動の支援
- 学生と地域住民の交流機会の拡充、地域ニーズの聴取、研究支援の還元

2 附属学校

①大濠高等学校・中学校

- 主体的・協働的な学習(アクティブ・ラーニング)の推進
- ICT活用の推進
- 道徳教育の推進、規範意識の醸成、生徒指導・相談体制の充実
- キャリア教育・進路指導の充実
- 新たな学習達成度テストの導入に向けた検討
- 教員の資質能力向上に向けた意識改革、研修の充実
- 受験生拡大に向けた広報活動の展開
- 適正な人件費比率の維持

②若葉高等学校

- 主体的・協働的な学習(アクティブ・ラーニング)の推進
- 道徳教育の推進、規範意識の醸成、生徒指導・相談体制の充実
- キャリア教育・進路指導の充実
- 新たな学習達成度テストの導入に向けた検討
- 教員の資質能力向上に向けた意識改革、研修の充実
- 受験生拡大に向けた広報活動の強化
- 安定的な経営基盤の確立

3 法人の事業活動を支える基盤整備

①安全な教育・研究・医療環境の整備

- 安全な施設の拡充・整備

②学部・大学院予算の適切な配分

- 研究費の適切な配分

③病院の財政基盤確立

- 病院経営の改善

④職員の資質能力向上

⑤事務組織の再構築



福大生サポート募金は「本学の学生に対する全人教育の推進、豊かな学生生活の形成を支援する制度」として、在学生、卒業生、保護者、大学の相互の絆をより一層強めるとともに、本学独自の寄付文化の醸成を図ることを目指し、平成23年6月から開始いたしました。

この福大生サポート募金の趣旨にご賛同いただいた皆さま方から、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご協力が寄せられております。ここに深く感謝いたしております。ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を左記要領のとおり掲載させていただきます。

なお、本募金は金額の多寡にかかわらず、末長く継続的にご支援くださることを願うものであります。これからも皆さまの変わらぬご賛同・ご理解を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

■寄付者ご芳名掲載要領

一、本号では、平成27年10月1日から平成28年3月31日までの寄付者のご芳名を掲載します。

一、卒業生、在学生の保護者、職員・役員、企業等法人、その他という募金対象者の区分ごと(寄付金額の多い順、およびご芳名は五十音順)に掲載します。

一、分割での払い込みの方は、平成27年10月1日から平成28年3月31日までに「ご寄付をいただいた金額」と募金期間中の累計金額を()で掲載します。

一、今後も、年2回(冬号「1月発行」および夏号「6月発行」)に掲載する予定です。

※(減税措置について)
本募金は、原則として、個人法人を問わず寄付金控除の対象となります。詳しくは、「募金趣意書」に記載しておりますので、ご確認ください。

■寄付金受入状況【使途別】

使途	平成28年3月31日現在		
	平成27年9月までの寄付金額(円)	平成27年10月～平成28年3月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
経済的困窮学生に対する給費奨学金	10,885,905	323,500	11,209,405
学生海外大学派遣プログラム	1,005,700	275,000	1,280,700
学生スポーツ強化	1,884,200	80,000	1,964,200
福大生ステップアッププログラム	609,200	665,000	1,274,200
その他、学生支援事業	26,932,654	464,500	27,397,154
合計	41,317,659	1,808,000	43,125,659

■寄付金受入状況【募金対象者別】

募金対象者	平成28年3月31日現在		
	平成27年9月までの寄付金額(円)	平成27年10月～平成28年3月寄付金額(円)	寄付金累計額(円)
卒業生	10,576,969	216,000	10,792,969
在学生の保護者	8,690,000	434,000	9,124,000
職員・役員	8,033,162	1,108,000	9,141,162
企業等法人	7,120,000	50,000	7,170,000
その他	6,897,528	0	6,897,528
合計	41,317,659	1,808,000	43,125,659

卒業生									
■十七万円		■三万円		■二万円		■一万円		■五千円未満	
安河内 昌士	梅村 和正	緒方由美子	林 敏	西村 明博	矢野 賀代子	天野 順一	有馬 順子	青木 和幸	首藤 規久
(三十三万円)	(八万円)	(九万円)	(四万円)	(九万円)	(四万円)	(四万円)	(四万円)	(五万円)	(五万円)
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
在学生の保護者									
■二万円未満		■一万円未満		■五千円未満		■二千五百円未満		■一千円未満	
録田 修	山田 忠昭	光武 久夫	加藤 敦子	加藤 顕	大嶺 啓	大島洋二郎	大江 公明	衛藤 洋一	梅崎 孝文
(五万円)	(五万円)	(五万円)	(六万円)	(六万円)	(六万円)	(六万円)	(六万円)	(六万円)	(六万円)
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
職員・役員 (退職者・在外理事等を含む)									
■五十万円		■三十万円		■二十万円		■十万円		■五千円未満	
植田利恵子	山田 祐二	遠藤 正浩	山村 昌次	松本 祐一	久我 秀一	池田 雅文	坂上 謙二	川野 耕	岡崎 明
(四十三万二千円)	(二十五万円)	(二十五万円)	(三十万円)	(八万円)	(三万円)	(十二万円)	(二万八千円)	(二万二千円)	(十萬三千円)
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
企業等法人									
■五万円		■二万円		■一万円		■五千円未満		■二千五百円未満	
山内商店	山内 恭也	山川 稔	壬生 伸子	福 由紀	廣木摩理勢	匿名	匿名	匿名	匿名
(五万円)	(五万円)	(五万円)	(五万円)	(二万二千円)	(五万七千円)	(五万円)	(五万円)	(五万円)	(五万円)
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

イベントスケジュール

※学部や学年などによって異なる場合があります。

6月	交換留学生募集(オーストラリア・中国・韓国・台湾) (5月24日~6月3日)
	父母懇談会 ※医学部医学科は別日程 (5日 大阪、11日 長崎、12日 鹿児島、19日 山口、25・26日 福岡)
	特待生表彰式(11日)
	商学部第二部夏季球技大会(19日、予備日 26日)
	九州地区大学体育大会夏季大会(24日~7月17日)
	学術文化祭(27日~7月1日)
7月	父母懇談会(2日 那覇、3日 大分)
	学術文化祭「音楽の夕べ」(3日) ※学内開催
	休日授業日(18日 海の日)
	前期授業終了(22日)
	前期定期試験(23日~31日)
8月	交換留学生派遣(フランス・ブラジル)(上旬)
	前期集中講義(1日~5日)
	夏季休業開始(4日)
	オープンキャンパス(6日)
	海外研修生派遣(韓国)(6日~26日)
9月	後期集中講義(5日~9日)
	海外研修生募集(アメリカ・オーストラリア)(7日~20日)
	商学部第二部グリーンキャンパス(10日・11日)
	夏季休業終了(13日)
	海外春期中国語研修生募集(中国)(13日~23日)
	後期授業開始(14日)
	九州六大学野球秋季リーグ戦福西戦応援合戦(中旬)
	交換留学生受け入れ(中旬)
	前期卒業式(24日)
10月	商学部第二部秋季球技大会(9日、予備日16日)
	アジア圏協定校との学生交流セミナー(25日~11月4日)
	交換留学生募集(イギリス・フランス・ベルギー・ブラジル) (26日~11月7日)

本誌『福岡大学学園通信』に関する感想をお寄せください。より良い広報誌づくりのために、ご意見・ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

第54号(通巻224号)平成28年6月27日発行
編集・発行:福岡大学広報委員会(企画部広報課)
 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
 TEL:092-871-6631(代) E-mail:fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp

オンライン版は **福岡大学学園通信** [検索](#)

■ 福岡大学学友会体育部会

4月19日から23日まで学内で募金活動を行いました。総額1,268,326円が集まり、5月18日、代表の学生3人が読売新聞西部本社を訪れ「読売光と愛の事業団」に寄託しました。



■ サッカー部等

4月17日・18日、福岡大学サッカー部の学生を中心に、募金や救援物資提供の協力を福岡市中央区天神の街頭や本学仮設サッカー場で行いました。他のクラブやサークル、熊本出身の学生たちも活動に協力し、県内外の他大学からも多大なご支援をいただきました。4月20日、サッカー部の代表学生2人が「西日本新聞民生事業団」を訪れ、義援金5,493,167円を同事業団に寄託しました。



DMAT活動中の様子

▶ 大学院博士課程後期・博士課程 給費奨学生6人を表彰

6月13日(月)、福岡大学本館第一会議室で、平成28年度福岡大学大学院博士課程後期・博士課程の給費奨学生表彰式を行いました。これは、日本学術振興会の特別研究員の採用者および申請者のうち特に成績優秀者に対し本学が奨学金を給付するもので、学長から以下6人の学生に対し表彰状が授与されました。

人文科学研究科1人、理学研究科2人、医学研究科1人、スポーツ健康科学研究科2人

「第12回(平成28年度) 全国高校生川柳コンクール」作品募集中

本学では、平成17年度から毎年開催している「全国高校生川柳コンクール」の作品を募集しています。活字離れが進む若い世代に、日本固有の短詩形文化に触れ親しんでもらうことを目的としています。五・七・五の十七音で日頃感じていることを表現してください。

テーマは、日本を元気にするメッセージをはじめ、友情、勉強、部活動、家族、恋愛、夢、希望、社会へのメッセージなど自由。詳細は本学公式ウェブサイトをご覧ください。

福岡大学 [川柳](#) [検索](#)

表彰

- ・金賞(福岡大学長賞):図書カード5万円分<1作品>
- ・銀賞:図書カード3万円分<1作品>
- ・銅賞:図書カード1万円分<1作品>
- ・全日本川柳協会賞(特別賞):図書カード1万円分<1作品>
- ・西日本新聞社賞(特別賞):図書カード1万円分<1作品>
- ・入賞:図書カード3千円分<45作品>
- ・学校賞(特別賞)<1校>

募集締め切り

9月5日(月) <当日消印有効>

主催

福岡大学

後援

文化庁/全日本川柳協会/
全国高等学校文化連盟 ほか



▶ 熊本、大分の復旧・復興に向けて

4月14日以降、「熊本地震」の影響により、多大な被害が発生しました。この地震により被災した本学学生の実家も多く、学生からも「何とか被災地で役に立ちたい」との意見が寄せられました。本学が取り組んだ支援の一部を紹介します。

■ 福岡大学病院

国(厚生労働省医政局DMAT事務局)の要請を受け、4月15日・16日にDMAT(※1)を派遣(医師2人、看護師2人、薬剤師1人、事務職員1人)。その後、以下の支援を行いました。

<人的支援>

4月23日~26日:災害支援ナース派遣(看護師2人)

4月23日:エコノミークラス症候群の予防および啓発と実態調査(医師2人、臨床検査技師1人)

4月24日~27日:JMAT(※2)派遣(医師2人、看護師2人、事務職員1人)

4月27日~30日:JMAT派遣(医師2人、看護師2人、臨床工学技士1人)

<物的支援>

副食 ハンバーグと肉じゃが2,000食/体温計350本/血圧計110台

<受け入れ支援>透析患者2人

(※1)DMAT...災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームのこと。

(※2)JMAT...日本医師会からの要請の下、DMATが3日程度で撤退するのと入れ替わりで被災地の支援に入り、地域医療を支える災害医療チームのこと。

■ 福岡大学筑紫病院

4月27日、医師2人を現地に派遣し、エコノミークラス症候群の予防および啓発と実態調査を行いました。また、外来患者15人を受け入れました。



ボランティアセンター移転を知らせるチラシを作成

■ 学校法人福岡大学

学校法人福岡大学では教職員を対象に、4月22日から5月10日の間、募金を受け付けました。同窓会組織である有信会、福岡大学教職員組合からの義援金も含め、総額5,350,000円が集まりました。6月15日、山口福岡大学長と川畑有信会理事長が「毎日新聞西部社会事業団」を訪れ、義援金を同事業団に寄託しました。

■ 学生のボランティア派遣

5月下旬の2日間にわたり、学生83人、教職員8人を熊本県阿蘇郡西原村へボランティアとして派遣。ボランティアセンターが移転したことを住民に知らせるチラシを作成し、配布。各家庭を訪問するときに「お困りのことはないですか?」とニーズ調査を行いました。さらに、山崎製パンでパンを200個購入したところ、協賛として多くのパンを寄付していただき、現地の方々に提供しました。

来てみて 話して ころの整理

例えば...

- 人間関係がうまくいかない
- 前期試験のことが心配
- 急に落ち込んだり不安な気持ちが続く
- 最近なぜか体調を崩しやすい
- いろいろなことにやる気が起きない etc.

専門のカウンセラーが学生の皆さんからの相談を受け付けています。相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。どんな相談でも結構です。一人で悩まずに、HDセンターに来てみませんか? 自己理解や社会的場面で役立つスキルを学ぶことなどを目的とした体験型セミナーも夏季休業中に実施します。詳細はHDセンターのウェブサイトを確認してください。

費用 無料(相談、セミナー、交流会) **完全予約制**

相談時間 月・水・木・金/9:30~16:00 火/9:30~18:40

場所 学生部事務室棟3階(1階に学生課のある建物)

○本学学生のごことであれば、ご家族・教職員の皆さまからのご相談もお受けしています。

ヒューマンディベロップメントセンター (HDセンター:学生相談室) TEL:092-871-6631(代)(内線2630)

●ウェブサイトもご覧ください。 <http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm> ※お電話は平日の16:30までをお願いします。

福大生の法律に関するさまざまなトラブルに無料でご相談に応じます。

例えば、こんなお悩みはありませんか?

- 敷金の返還がない...
- アルバイト先で不当解雇された...
- 交通事故に遭ってしまった... etc.

セミナーに参加したら高額商品を勧められ、断れずに契約してしまいました。

大事な契約は即決しないのが一番。事後対応が可能な場合も。

人間力向上や在宅ビジネスなどのセミナーで高額商品のセールスが行われることは珍しくありません。契約は即決せずに冷静に考える時間を持ち、保護者の方に相談することが大切です。契約後でも法的に対処できる場合があるので、諦めずに相談してください。

Fukuoka Legal Clinic TEL:092-874-9292(受付時間:平日9~18時) FAX:092-863-9555 <http://www.fukuoka-legal.jp/>

福岡大学 60周年記念館(ハリオスプラザ)5階 ●休業日:原則として土・日・祝日 ※事前にご予約いただければ、土、日や時間外も柔軟に対応します。

福岡リーガルクリニック法律事務所 弁護士法人福岡リーガルクリニックセンター(福岡県弁護士会所属)

Archive

— あの日から続く道 <message.06> —

時代に見る学生ファッション

学ラン・学帽、アイビールック、ベルボトム、DCブランド、紺ブレ、デニム …。

重ねられていく時代とともに、学生ファッションも変遷を遂げていく。

その時代、その時代を描くかのように。勉強、スポーツ、音楽、ボランティア、海外 …

キャンパスには夢に立ち向かう学生がいる。



1938 1938 1938 1938 1940



1969 1969 1969 1973 1974 1975



1980 1985 1987 1987 1987 1989



1995 2002 2002 2003 2004

そして今、2016年。福大生100人の夢は？ p.2からp.8をご覧ください！